



あかやま ものづくり 補助事業 成果事例集



和歌山県中小企業団体中央会



和歌山県中小企業団体中央会

令和2年1月

はじめに

和歌山県中小企業団体中央会は、平成24年度補正事業で事業化されました「ものづくり補助金」事業の和歌山県地域事務局として、中小企業・小規模事業者の、ものづくり・商業・サービスの分野で設備投資等による革新的な取り組みに対する支援を行い、事業者の皆様の円滑な事業遂行を支えるべく努めて参りました。

「ものづくり補助金」は、中小企業・小規模事業者の革新的な新製品開発や設備投資等を支援し、経営基盤の強化や生産性の向上に大きな効果をあげており、基盤技術の底上げの推進と、地域の産業社会の活性化への大きな後押しとなっています。

本県では、平成24年度補正事業から平成29年度補正事業まで669事業者様が採択されました。

この度、採択事業者様のうち28事例の事業の成果及び今後の展望等について取りまとめ成果事例集として発刊させて頂きました。

本事例集が、今後新たな設備投資等にチャレンジしようとする中小企業・小規模事業者の皆様にとって参考となりましたら幸いです。

最後になりましたが、本事例集の作成にあたりご協力頂きました事業者の皆様に深く感謝申し上げます。

令和2年1月

和歌山県中小企業団体中央会

会長 妙中 清剛

本事例集の読み方

[illegible]

会社の創業から現在の事業内容を説明しています。製品やサービスの特長、企業の強み、これまで培ってきた技術や設備、企業規模等を記載しています。

実施した補助事業の具体的な内容について紹介しています。事業を開始したきっかけが社会的な環境によるものか、企業独自によるものか、得意先からの要望によるものかは、各企業によって異なります。ものづくり技術や設備、サービスなどに、どのような課題があり、補助事業でどのように解決したかったのかについて記載しています。補助事業の目的と目的達成までのプロセス、補助金の使い道についても触れています。

各企業の補助事業の成果についてまとめています。補助事業による投資が、短期で受注増や製品の安定供給、コストダウンにつながったり、作業効率が上がったりした企業もあれば、成果に結びつくまで数年かかる企業もあります。各企業では、その成果を具体的に数値で表現しているほか、成果による波及効果について分析しています。

補助事業によってもたらされた成果をきっかけにして、今後の事業展開にどのように活かしていくのか、企業の目標について記載しています。

平成 25 年度補正

中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業

概要

事業の目的

ものづくり・商業・サービスの分野で環境等の成長分野へ参入するなど、革新的な取組にチャレンジする中小企業・小規模事業者に対し、地方産業競争力協議会とも連携しつつ、試作品・新サービス開発、設備投資等を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を現に有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【ものづくり技術】、【革新的サービス】の2類型がある。
それぞれについて「1. 成長分野型」、「2. 一般型」、「3. 小規模事業者型」がある。

	ものづくり技術	革新的サービス
1. 成長分野型 ・補助上限額：1,500 万円 ・補助率：2／3 ・設備投資が必要	「成長分野」とは、 「環境・エネルギー」「健康・医療」「航空・宇宙」とする。【参考：日本再興戦略（平成 25 年 6 月 14 日）】 本類型に申請可能な者は、専ら、上記の3分野のいずれかに関する試作品・生産プロセスの改善・新サービス開発に取り組む者とする。	
2. 一般型 ・補助上限額：1,000 万円 ・補助率：2／3 ・設備投資が必要	補助対象要件を満たす案件は、すべて申請可能である。※「1. 成長分野型」「3. 小規模事業者型」に該当する申請も、一般型に申請可能だが、複数の申請はできない。	
3. 小規模事業者型 ・補助上限額：700 万円 ・補助率：2／3 ・設備投資は不可	申請可能な者は、「中小企業基本法」第2条第5項（昭和 38 年 7 月 20 日法律第 154 号）の「小規模企業者」に限る。	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【ものづくり技術】

(1) わが国製造業の競争力を支える「中小ものづくり高度化法」11分野の技術を活用した事業であること。

(2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関の確認を受けていること。

【革新的サービス】

(1) 革新的な役務提供等を行う、3～5年の事業計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成する計画であること。

(2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

補助率等

● 対象経費の区分

原材料費、機械装置費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家謝金、専門家旅費、雑役務費

補助率	補助上限額			補助下限額
補助対象経費の 3分の2以内	成長分野型	一般型	小規模事業者型	100 万円
	1,500 万円	1,000 万円	700 万円	

平成 25 年度

採択事業成果事例

ヨシダエルシス株式会社



会社紹介

**信念は「養鶏業者のための機械器具を製造する」こと
採卵養鶏器具専門メーカーとして第一次産業を支える**



工場長 芝崎 順夫

創業は養鶏業を営んでいた初代が、昭和33年に日本で初めて配餌方式による手押給餌機を開発したことが始まり。以来、採卵養鶏器具専門メーカーとして、破卵を抑えた集卵装置＋バーコンベアシステム、猛暑に耐えるケージファン換気システム、常に20℃前後の冷水を供給できるドリンカー、多段飼育ケージ＋鶏糞スクレーパーなど、多岐にわたる機械を製作・販売している。卵自体、リーズナブルで栄養バランスのとれたタンパク源であり、世界中で親しまれる食品の一つ。近年、海外メーカーや国内後発メーカーとの価格競争で差別化が求められ、ハイブリッドベンダー導入による「ワンストップ型ソリューション」の強化に踏み切った。

補助事業

2000軒を超える顧客とともに 新製品の開発・改良に心血を注ぐ

同社の強みは、採卵養鶏器具専門メーカーとして「養鶏業者のための機械器具を製造する」という信念のもと、新製品の開発と改良に心血を注いできたこと。全国に2000軒を超える顧客とともに、今日のシステムを完成させてきた。今回、ストロングポイントを強化するため、採卵養鶏器具を製造する上で最もオペレーションが複雑なプレス工程に、世界最高の高速・高精度曲げ加工の性能をもつプレス機「ハイブリッドドライベンダー」を導入。従来、機械の原材料となる鉄板はすべてプレス加工を経て生産していたため、手作業による位置決め、目視による試し曲げ等がネックになっていた。同事業活用によるプレス機の購入で、生産性の向上および短納期を実現できる体制が整った。



成果

生産性の向上・短納期にプラス安全性 最新機器で支える養鶏家のたゆまぬ努力

今回のプレス機の導入で、生産性(D軸最大速度)は2倍以上向上、消費電力量は約20%低下、作動油量は約56.1%減少と、次々に目標を達成。また光線式停止装置などにより、安全性が向上し、さらにマルチタッチパネル装備により、操作性の向上も見込めるようになった。これにより、鶏舎建築と内部設備を組み合わせた総合プラント会社として、同社の強みである開発力と技術力を背景とした「ワンストップ型ソリューション」を強化。卵に一切触れることなく、鮮度と清潔を保ったまま出荷できる機械システムを、それぞれの顧客ニーズに応えながら、より早く安全に低コストで提案できるようになった。いつの時代も「卵が物価の優等生」といわれる理由は、昼夜を問わない養鶏家のたゆまぬ努力があってこそ。そんな第一次産業を支える日本のメーカーとして、これからも顧客とともに成長し、業界の発展、さらに広く社会に貢献することを目指して、着実に事業を発展させている。



今後の展開

日本メーカー最大の強みは 迅速・適確なアフターケア

「儲かる養鶏のための機械器具を…」という思いは、同社の信念として根底にあり続ける。海外メーカーおよび国内後発メーカーの参入が相次いでもそれは変わることなく、価格・納期においても差別化を図り、さらに誠実さをもって付加価値をつける。それが同社最大の強みでもある迅速で適確なアフターサービス。日本中どこにでも技術スタッフが駆けつけ、第一次産業を支え続けている。

会社概要

会社名	ヨシダエルシス株式会社
代表者	代表取締役 吉田 卓司
所在地	和歌山県御坊市藤田町吉田155
資本金	2,000万円
従業員数	84名
業種	畜産用資材および機械器具製造、鶏舎および倉庫等の建築
設立年月日	昭和40年2月1日(創業/昭和33年10月)
TEL	0738-22-2111
FAX	0738-22-8885
E-MAIL	info@yoshida-lsys.com
URL	http://www.yoshida-lsys.com

寺本紙器株式会社



会社紹介

「地域産業に貢献する」がモットーの紙器製造業会社
トータルサポートで顧客の要望をかなえる受注生産が自慢



専務取締役 寺本 忠司

段ボールや白ボール、台紙などの紙器を製造する「寺本紙器」。バラエティーに富んだ紙材料を取りそろえ、サイズ加工や印字・プリント、小ロット・短納期などトータルサポート体制で、顧客の要望に合わせたオーダーメイドの紙製品を生み出している。和歌山全域から大阪南部、奈良県など、関西地区を中心に受注生産。特に地元橋本市や周辺の伊都郡、奈良県五條市を主戦場に、「地域産業に貢献する」をモットーにした事業を展開している。

令和元年度わかやま地場産業ブランド力強化支援事業に、「『ダンボール×デザイン什器』をテーマにした新ブランド開発」を題材に応募し、採択事業者の一つに選出された。

補助事業

新パッケージと紙製家具 2つの取り組みに挑戦

同社の顧客は地域的に柿やブドウ、キウイ、地酒などの地場製品の生産者が多い。製品の化粧箱を一度に大量に作る傾向にあり、長年にわたって同じデザインのものを使わざるを得ない状況が見受けられる。今回の事業では、製品のイメージを時代に合わせて変化できるよう、小ロットで低価格のパッケージを提供することが目的の一つだ。もう一つは、幼児玩具販売会社や木製家具等販売会社から、紙製家具の開発要望が多数あり、防災時の利用などの観点からも有望な市場と考え、新規事業として着手することを決意。この2つの取り組みを実現させるために、同補助事業を使って、UVインクジェット印刷機とカッティングマシンの2機を導入し、新たな販売活路を見いだす。



成果

同補助事業の新機械装置導入により 既存の生産機による問題がすべて解消

同補助事業に取り組む前の課題に、「美粧プリント（イラスト印刷・写真印刷）」「多品種小ロット対応」「曲線加工（Vカット・ミーリング）」「コストダウン対応」が挙げられていた。導入したフラットベッド型UVインクジェット印刷機は、大判プリンタに求められる2大要素であるスピードと画質を高次元で両立でき、小ロット生産機として活用している。カッティングマシンに関しては、専用高機能CADと組み合わせることにより、簡単操作、時間短縮、型不要、正確な寸法合わせ、小口受注に迅速対応など多くのメリットが生じ、前述した課題がすべて解消。その結果、他社と比べて、提案力・商品力に優位性が出てきた。また、一般段ボール、プラスチック製段ボール、三層段ボール、ハニカム段ボール、60mmまでの発泡剤など、さまざまな素材を加工できるようになった。



今後の展開

きめ細やかな広報活動を展開 商品企画力と提案力を強化

顧客にとって投資収益率のよい小ロット化粧ケースの長所を理解してもらえるような広報活動を展開。その上で多くの成功事例を積み重ねていく意向だ。紙製家具に関しては、木製家具等販売会社の協力で試作品を作った経験を生かし、商品企画力と提案力を強化する。また、軽量で安全性が高い面から、福祉施設等への導入も検討するなど、同社の主要商品になることを目指す。

会社概要

会社名	寺本紙器株式会社
代表者	代表取締役 寺本 忠行
所在地	和歌山県橋本市高野口町名古曾1078
資本金	1,000万円
従業員数	19名
業種	段ボール製造、白ボール・台紙など紙器製造業
設立年月日	昭和18年
TEL	0736-42-2028
FAX	0736-42-0122
E-MAIL	info@terachu.com
URL	http://www.teramotoshiki.com

株式会社泉鉄工所



会社紹介

国が認める安定した品質の鉄骨製品を供給するため
最新機器の導入で企業力を強化し収益性の向上を目指す



代表取締役社長 泉 忠男

設立以来、建築用の鉄骨を主に製作。近年導入した最新型の鉄骨用溶接ロボットにより、災害関連や大手メーカーの店舗工事なども受注でき、安定した品質の鉄骨製品を供給している。そもそも建築用鉄骨は、国土交通大臣の認定を受けた工場において製作される工業製品のことで、バブル期をピークに需要が下がり始めたものの、東京オリンピックや国土強靱化法成立等で業界全体が好転。同社においても、県内外から引き合いが増え、昨年夏ごろから工場がほぼフル稼働している。今後さらに増えるであろう鉄骨需要に応え、より高品質な鉄骨製品を安定的に社会に供給できるよう、企業力を強化して収益性の向上を目指す。

補助事業

ショットブラスト装置の導入で 厳しい精度と安定した品質を管理

建築用鉄骨は、木造や鉄筋構造のように、工事現場で加工されるのではなく、製作工場において、鉄骨製作管理技術者や建築鉄骨検査技術者などの管理のもと加工製作される。現場においては高力ボルトなどで組み上げることで完成する。そのため製作工場では、厳しい精度管理や安定した品質が求められる。組立は高力ボルトによる接合が主流で、特に高力ボルトの接合面は摩擦接合によって行われるため、接合面の処理は重要な工程といえる。通常はショットブラスト機やグラインダー等の電動手工具で行われるが、同社の現行の設備においては老朽化もあり、修理を繰り返しながら使用。そこで今回、同事業を活用してH型鋼用と鋼板用の2基のショットブラスト機を導入した。



成果

同業他社との差別化により競争力もアップ 予想される大型物件の受注にも即時対応

H型鋼用のショットブラスト機は、旧設備より大型のサイズに対応し、さらに処理能力の高速化により、機器導入前と比較して作業効率が改善。また鋼板用は、従来手作業で行っていた摩擦面処理が、機械化により自動化されたことで、大幅な機器導入の効果が表れている。もちろん、導入機器により処理された鉄骨製品の摩擦接合面は、建築学会基準に求められる表面粗さを十分に確保し、高品質な鉄骨製品を製作する設備として活用できた。今後予想される大型物件の受注時に即時対応できるだけでなく、同サイズのショットブラスト機は県内でも導入実績が少なく、同業他社との差別化により競争力がアップ。顧客からの短納期ニーズにも対応することができ、自社の収益性向上に寄与。さらに手作業での摩擦面処理は、作業時の粉じん対策や消耗品のサイクルの短さ・故障などで非常にコストがかかっていたが、今回の機械化により作業環境も大幅に改善され、省力化にも大きく貢献した。



今後の展開

安全な社会インフラに寄与 地域にも安全・安心を届ける

今回、同社で製作する製品が安定した摩擦接合面を得ることで、耐震性に優れた鉄骨製品を製造でき、しかも安全な社会インフラの供給に寄与することができた。余力があるときには、ショットブラスト装置未導入の近隣協力企業の摩擦面処理加工を積極的に受注。収益を上げることはもとより、近隣協力企業の鉄骨製品の品質レベルアップにつなげ、地域にも安全・安心の鉄骨製品を届ける。

会社概要

会社名	株式会社泉鉄工所
代表者	代表取締役社長 泉 忠男
所在地	和歌山県田辺市秋津川1501-1
資本金	1,000万円
従業員数	20名
業種	鋼構造物工事業
設立年月日	昭和45年5月1日(創業/昭和40年1月5日)
TEL	0739-36-0080
FAX	0739-36-0168
URL	https://bso15674.bs.jp

日建産業株式会社



会社紹介

「つくる力」と「つなぐ力」と「はぐくむ力」で
日本だけでなく世界に、企業としての存在価値を発揮



和歌山工場は、太平洋を望む高台に位置。都市開発を支えるクレーンブーム材から、水の安心・安全を守る水道用鋼管まで、唯一無二の技術力で、暮らしに欠かせないものをつくっている。主力の付加価値鋼管製造事業を中心に、建設機械のキャビンフレーム製作や、レーザー切断機による鋼板の切断加工、溶接、各種付加価値加工などさまざまなニーズに対応。中でも強みとするのが1mmの狂いも許されないクレーンブーム用高強度鋼管。そして日本中に、安全に水を運ぶ、水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管。熱や腐食に強い給湯用耐熱塩化ビニルライニング鋼管は、世界で唯一、同社だけが製造しているオンリーワン製品だ。

工場長 石橋 和彦

補助事業

社会的要請の環境問題にも対応 国際競争力を備えて世界に進出

従来、酸洗処理により、鋼管の外面の錆等の除去を行っていたが、客先からの美観向上の要請により検討を重ねた結果、ショットブラストマシンを導入。中でも建設機械のクレーンブーム用鋼管加工において、技術的に日本が最先端であり、国際競争力を備えたブーム加工製造を続けていくことが、今日の社会的要請である環境問題にも対応すると考えた。そもそもショットブラストマシンとは、パイプの外表面を研削する機械で、投射装置、キャビネット、研削材の循環装置、パイプの搬送装置、集塵装置から構成される。パイプは回転しながら前進し、入側テーブルより送られてキャビネット内に入り、2台の投射機により研削。回転しながら進むことで全周が研削され、一度で処理が完了する。



成果

仕上がり製品の美観向上はもちろん 効率や安全性もアップし、環境対策も万全

仕上がり製品の美観向上については、さまざまな規格や材質、外径等に対応するため、最適ラインの速度検証から始め、作業効率も考えて4パターンに集約した結果、スピード設定条件で投射量の変更をせずにパネル操作のみで行うことができた。作業の安全性向上については、従来、鋼管の錆除去に硫酸を使用していたが、作業者の健康管理や周囲への安全管理に十分な注意を払う必要があった。また、使用済み廃酸は産業廃棄物として処理していたことから、コスト面や環境面において負担になっていた。今回の導入で、硫酸のような危険物を扱うことがなくなり、作業者や周囲への管理体制に好影響を与える結果に。コストにおいても、酸および薬剤の使用と廃酸費用が削減。生産性においては、鋼管の供給、排出までを自動化することで生産性がアップ。環境対策についてもショット玉をリサイクルでき、また集塵機により粉塵の飛散を抑制しつつ、一定の環境対策を図っている。



今後の展開

競合他社との差別化につながる 熟練技術者のノウハウの蓄積

鋼管加工は設備投資のほかに、技術・ノウハウの蓄積が重要であり、これまでの鋼管加工技術を生かして設備導入できたことで、熟練技術者のさらなる経験値の蓄積ができ、競合他社との差別化を図れた。また今後、国内のみならず海外展開も予想される中、酸洗処理には法律上の問題があり、それらを解決するショットブラストマシンの導入で、海外での運用に応えられる技術・設備を獲得した。

会社概要

会社名	日建産業株式会社
代表者	代表取締役社長 濱口 健宏
所在地	和歌山工場／和歌山県御坊市名田町上野1104-4
資本金	9,000万円
従業員数	68名
業種	鋼管切断加工、鋼材切断加工、各種防蝕鋼管製造ほか
設立年月日	昭和21年6月(創業)／昭和14年3月)
TEL	0738-29-3161
FAX	0738-29-3112
URL	https://www.nikken-sangyo.com

株式会社平木米穀店



会社紹介

天保時代に創業し、180年以上続く有田川町の老舗米穀店
安心・安全・品質にこだわったおいしいお米を提供



天保時代に初代・平木林蔵が創業して以来、180年以上続く有田川町の老舗米穀店。七代目となる平木公（あきら）氏が代表取締役を務めている。平成21年に現在の社屋が完成し、25年に法人化し「株式会社平木米穀店」にした。

同店で扱う米穀は、代表や社員が産地に直接赴き、生産者に会い、生産工程を確認して、安心で安全なものだけを厳選。仕入れ後も、同社が所有する大型の冷温倉庫に保管するなど、徹底した品質管理が自慢だ。コイン精米機、無洗米加工の委託事業も展開。また、野球やラグビーなど地元のスポーツチームのスポンサーになるなど、地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

代表取締役 平木 公

補助事業

無洗米を扱い、同業他社や従来商品との差別化を図る

同社の主な市場地域は和歌山県および大阪南部だ。同エリアでは、炊飯前に水でとぐ従来型精米を取り扱う業者がほとんどであり、無洗米を扱っているところは少ない。加えて、全国規模の大手業者は地域に小回り良く対応できていない現状から、無洗米を扱うことは同業他社や従来商品と差別化を図ることができ、収益向上につながる事業であると考えた。

新型無洗米設備を導入し、従来の精米事業に加えて無洗米事業も行うことで、同社の付加価値をさらに高めることを目的に、補助事業の活用を希望した。また、小ロットに対応できる機械を導入すれば、顧客に対して細かいサービスを積極的に提案でき、さらなる販路拡大も予想される。



成果

大口得意先の卸しや業務店の伸び率など販路拡大を実現し、収益面に大きな期待

新型の無洗米設備「テイスティホワイトミニ」（サタケ／NTWPO5A型）を導入したことで、洗米手間の削減や環境負荷の低減を顧客に提案でき、無洗米の価値を向上させ、販路拡大を実現させた。実際に大口得意先にも卸し始めていて、主要顧客として業務店は22%の伸びが出ているなど、収益面においても今後大いに期待できる。

新型設備の特徴として、前述したように小ロット対応が可能となり、50kgからのオンデマンド精米を受けられるようになった。また、表面のぬかだけを取り除き、うま味成分を残すことができるため、品質や味の評価も高い。これらの特徴を伝えていくことで、無洗米の良さを広く知らしめ、地域初の試みとなる「一般消費者向け無洗米精米サービス」を行うことも現実味を増してきた。



今後の展開

新規事業の一つとして 学校給食への参入・販売も

すでに、無洗米の委託精米は月に40tのオフアーがあり、年間手数料は900万円を見込んでいます。既存業務店への販売を続け、さらに新規事業として一般消費者向け、学校給食への参入・販売を考えています。学校給食に関しては、洗米工程をなくせること、洗米用に大量の水を使用する必要がないことなどを理由にアピールし、今後の得意先顧客数の増加を図っていく。

会社概要

会社名	株式会社平木米穀店
代表者	代表取締役 平木 公
所在地	和歌山県有田郡有田川町下津野628
資本金	800万円
従業員数	7名
業種	米穀卸・販売業
設立年月日	平成25年
TEL	0737-52-2043
FAX	0737-52-8026
E-MAIL	info@daikoku-rice.com
URL	http://daikoku-rice.com

井手印刷株式会社



会社紹介

「人から人へ、心に響くメッセージ」をコンセプトに
地元密着だからこそその小回りで、どこよりも早く正確に対応



戦後の昭和21年に創業した老舗印刷所。「人から人へ、心に響くメッセージ」をコンセプトに、確かな印刷サービスを提供している。サービスメニューは、品質重視で大量印刷が可能なオフセット印刷から、少部数で短納期対応ができるオンデマンド印刷、フォトブック・作品集、さらには地域産業と連携したオリジナル焼印の食べられる印刷の受注とさまざま。印刷物全般を社内一貫体制で管理している。また抜群の印刷環境を整えたプリントラボ(平成27年竣工/和歌山市梶取)の新設により、工程管理が大幅に飛躍。万一のトラブルにも、早期発見・解決する体制と、地域密着型の小回りで、どこよりも早く正確に対処。頼りになる街の印刷所だ。

工場長 白川 勇夫

補助事業

顧客満足度の向上を目指し
HUV 搭載の最新機種を導入

同事業では高精細・高品質、低コスト、小ロット対応を実現することで顧客満足度の向上を目指し、ARとの連動による販路拡大も目標に、最新のHUV技術を搭載した多色刷り印刷機と、それに伴うシステムを導入。課題となっていたのは、従来機種では1色または2色しか1度に印刷できず、それ以上の場合は何度もインク交換をした機械に通すことで色を重ねて表現していたため、位置ズレが生じる可能性があった。さらに色の管理はオペレーターの目と経験によるため、品質の均一化が難しく、またインク交換や印刷後に乾燥させる時間も必要で、次の工程へ移るのは翌日以降になるのが通例。これらの課題解決と次世代印刷物への可能性を広げるため、多色刷り印刷機の購入に踏み切った。



成果

工場を新設して次世代印刷物への可能性にかける
優位性をもって新規獲得や事業展開に前進

準備として、導入する機械の大きさを考慮し、工場を新設。導入機では4色同時印刷が可能だけでなく、データによる色管理とオペレーターの経験による微調整で、リピート注文の場合でも前回と同じ色が何度でも再現可能になった。中でも、納期の大幅短縮を実現したのがUV装置による速乾性。以前なら印刷開始より最短でも3日間必要だったものが、導入後は15時間で納品完了。もちろん綺麗さも、世界最先端のデジタル色管理で満足いく仕上がり。近隣のライバル会社になかった武器を得たことで、今後の競争で優位に立ち、新規顧客の開拓や幅広い事業展開の一步を踏み出すことができた。その中の一つが、印刷物にスマホやタブレットのカメラをかざすと、動画や音声が生・閲覧できるARコンテンツ。繊細な表現が可能な同機により、ARでの誤認識が格段に少なくなり、さらに読取マーカの設定がデザインの妨げにならず、要望の画像やデザインで制作を進めることができた。



今後の展開

AR を活用した印刷物に好評価
ネットを活用して他府県へも進出

現在、ARを活用した印刷物は、学校案内や園だより等で大きな反響を得ている。それにより商談や提案の幅が広がり、ライバル他社や他府県同業種からの印刷依頼も増加。メールでの完全データ入稿で、いずれも短納期を実現。今後、完全ネット受注とまではいかないが、現在のネット印刷の「低価格・低品質」のイメージを打破し「高品質・適正範囲の低価格・短納期」を実現していく。

会社概要

会社名	井手印刷株式会社
代表者	代表取締役 井手 幸男
所在地	和歌山県和歌山市北坂ノ上丁66
資本金	1,000万円
従業員数	14名(パート含む)
業種	販促商業印刷の企画から印刷、冊子の編集・印刷ほか
設立年月日	昭和29年3月11日(創業/昭和21年)
TEL	073-423-8265
FAX	073-422-4512
E-MAIL	ideprint@ideprint.co.jp
URL	http://www.ideprint.co.jp

花野食品



会社紹介

産地と特産品を大切にする“郷土愛”がモットー
有田市を拠点に調味料や酒類を開発・製造・販売



大正12年に製菓業として創業。昭和に入ってから、食酢やしょうゆ、だしのもとを製造し始め、同社の基盤が作られる。創始者である花野由松氏の理念、「産地と特産品に傾けた真心と情熱のロマン」を大切に、三代目社長が家業を継ぐ現在も、有田地方の農産物を使い、時代にマッチした商品開発に尽力し続けている。温州みかん、ニンニク、赤シソなど、地元農家や自社の畑で採れた果実や野菜を使って加工品を製造。また自社醸造所では、みかんやレモンを使った果実酒やリキュールも造っている。「紀州みかん酢」「みかんシュワッ酒（スパークリングワイン）」など4商品が、和歌山県優良県産品「プレミアム和歌山」に選定されている。

営業 花野 知香

補助事業

リキュールの量産体制を整え、収益拡大、拡販開拓を目指す

みかんを原料にした酒類を製造・販売している同社では、「良質な国産の柑橘系リキュールが少ない」との製菓業者の声を聞き、未成熟の青みかんを原料にしたオリジナルリキュールを開発・醸造。平成27年から「バージンオレンジ」など2種類の商品を飲食店や土産店などを中心に出荷し、好評を得た。今後、同リキュールの量産体制を整え、収益拡大、拡販開拓を目指すためには、製造工程を商品の良質化、スピード化、コストダウン化できる装置の設置が望まれた。また、製造過程で廃棄していた残滓（ざんし）は精製してアロマオイルとして商品化することも可能だと判断し、同社の新しい商品開発に必要であると考え、同補助事業を利用して合計3台の新装置の導入を決断した。



成果

新しい減圧蒸留装置によって処理能力、処理量、安全性が飛躍的に改善

導入した装置は「洗浄ゴミ取り機一式」（佐藤農機製造/UW-10DS型）、「プレハブ冷凍庫一式」（ホシザキ京阪/パネルPF-24CC-2.00ユニットHUS11FA）、「減圧（常圧兼用）蒸留装置一式」（横山エンジニアリング/YE式DV500型）。「洗浄ゴミ取り機」は摘果した青みかんの洗浄に用いられる。導入前は手作業だったが、同機なら1時間で500～800kgのみかんを洗え、作業時間と流水のロスが改善。また、「プレハブ冷凍庫」は導入前は業者に委託していたため、摘果みかんを入庫するのにタイムラグが生じることから鮮度が落ち、皮が黄色く変色することもあった。しかし自社の冷凍庫を置くことで、鮮度が高い状態で大量に入庫できるように。「減圧（常圧兼用）蒸留装置」は留液とアロマオイル分離抽出を実現しただけでなく、処理能力と処理量も大幅に上がり、熱源が蒸気ボイラーになったことで安全性も向上した。



今後の展開

新規取引先を開拓し
さらなる販路の拡大を狙う

従来の10倍ものリキュールが生産できるようになったため、取引実績がある販路で売上実績を伸ばしていく一方で、県外のフードビジネスイベントなどに参加して新規取引先を開拓し、販路の拡大を図る。アロマオイルの商品化についてはまだ実現していないが、今後も研究を重ね、青みかんに含まれる有効成分を余すことなく活用し、ビジネスにつなげていきたいと考えている。

会社概要

会社名	花野食品
代表者	代表者 花野 雅司
所在地	和歌山県有田市糸我町西498-6
資本金	個人事業主
従業員数	9名
業種	果実酒・果実酢醸造、調味食品製造業
設立年月日	大正12年
TEL	0737-88-6098
FAX	0737-88-7125
E-MAIL	info@umaimontei.com
URL	https://umaimontei.com

株式会社マキカンパニー



会社紹介

自社工場を抱える婦人服製造メーカーとして 企画提案から製造、納品まで社内で一貫プロデュース



親会社の「ドッグ繊維」が、創業以来アパレル業界で構築してきたノウハウを基盤に、自社内で企画、生産をする子会社として、昭和59年に設立。平成17年には自社工場を立ち上げ、日本製であることのメリット、品質管理・安心感・QR生産など恥じない品質で服づくりを目指す。また、企画段階から、サンプル作成、最終生産まで、顧客の企業戦略をきめ細かくプロデュースし、満足度の高い商品の提供に全力を注いでいる。25年には、海外生産部門として香港に「MAKI(HK)CO.,LTD」を設立。日本の厳しい品質管理、小ロットから大量生産の納期管理をフォローし、安心できる商品を顧客に届けている。

生産部部長 中野 留味子

補助事業

自動裁断機導入で生産力・ 品質向上・価格競争に挑戦

大手アパレルメーカーと連携し、婦人服の企画、生産を行っている同社のモットーは、「品質第一」と「QR生産」。特に品質を向上させるためには、裁断の精度を上げることが必須である。従来の手動裁断では生地積層によって微妙なズレが生じ、細かいパーツで不良を出してしまったり、自動裁断に比べて作業効率が悪かったりなどの理由から、裁断作業期間に日数を要していた。また要尺についても、手動裁断ゆえにパーツ間の間隔が自動機に比べて広く必要で、取り効率のロス軽減ができず、コストに響くなどさまざまな問題が生じていた。自動裁断機システムと延反機・延反台を導入することにより、これらの問題の改善、さらなる生産力・品質向上・価格競争へ挑戦したいと考える。



成果

高度な裁断技術と縫製力の相乗効果で 百貨店ブランドなどの受注に成功

単純な工程の衣料品をメインに製造していた同社工場が、補助事業で自動裁断機を導入できたことにより、高度な裁断技術の確立とこれまでに培ってきた縫製力の相乗効果で、百貨店ブランドや高級ブランドからの注文を受けるようになった。それ以外にも新規の取引先を増やすことにも成功した。また、要尺ロスが約10%削減し、作業経費をカットすることができ、コストダウンに反映できるようになった。作業時間に関しては、手動裁断では、Tシャツを例に挙げると2000枚の裁断に対して最低3日必要だったが、自動裁断機では2日で完了でき、1日短縮できることも分かった。その他にも、裁断のばらつきが解消された、熟練者による作業が一般技術者でも行えるようになった、CADデータの送受信で内外関連会社とのやりとりが瞬時にかなうなど、多くのメリットが挙げられた。



今後の展開

「縫製設備の投資にも力を入れ、 マルチな工場として進化したい」

裁断設備が充実したことから、今後は最新ミシンなど縫製設備の投資にも力を入れ、これまでは設備不足で受注不可だった製品の取り組みができるよう、マルチな工場として進化していきたい、と熱く語るのは、生産部の中野留味子部長。「ニットの産地であるここ和歌山で、縫製業を継続・継承し、地域貢献できるよう、技術と工員の意識を高めていきたいと思います」。

会社概要

会社名	株式会社マキカンパニー
代表者	代表取締役 向井 正興
所在地	和歌山県和歌山市出島38-1
資本金	1,000万円
従業員数	11名、和歌山工場28名
業種	婦人服の企画・製造・販売
設立年月日	昭和59年
TEL	073-488-5906
FAX	073-488-5907
E-MAIL	seisan-nakano@maki-jpn.co.jp
URL	http://www.maki-jpn.co.jp

平成 26 年度補正

ものづくり・商業・サービス革新補助金

概 要

事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。また、【革新的サービス、共同設備投資】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】、【共同設備投資】の3つの類型がある。
その中で、【革新的サービス】については「1. 一般型」、「2. コンパクト型」がある。

	一般型	コンパクト型
革新的サービス	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2／3 ・設備投資が必要	・補助上限額：700万円 ・補助率：2／3 ・設備投資不可
ものづくり技術	・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2／3 ・設備投資が必要	
共同設備投資	・補助上限額：共同体で5,000万円（500万円／社） ・補助率：2／3 ・設備投資が必要 （「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めておりません）	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【革新的サービス】

- (1)「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。
- (2)どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【ものづくり技術】

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
- (2)どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。

【共同設備投資】

- (1)本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。
- (2)事業管理者は、事業実施企業が出資した組合、共同出資会社又は事業実施企業が社員である社団法人であること。ただし、申請時には組合等を構成していなくても、交付決定までに組合等を構成する場合は、その任意グループでの申請ができる。その場合、組合等として法人格を得た後、交付決定することとする。
- (3)組合又は共同出資会社については、事業管理者として申請を行う以外に、事業実施企業として、補助事業に参画することができる。
- (4)どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (5)共同体内において、代表者が同一である、株式を支配している等、実質的に同一とみられる企業が2社以上存在する場合、申請できる社はそのうち1社とする。

補助率等

● 対象経費の区分

機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費

補助率	補助上限額				補助下限額
補助対象経費の 3分の2以内	革新的サービス		ものづくり技術	共同設備投資	100万円
	一般型	コンパクト型	1,000万円	5,000万円 (500万円/社)	
	1,000万円	700万円			

平成

26

年度

採択事業成果事例

有限会社ハヤシ・シザーズ



会社紹介

クオリティーの高い理美容ばさみは国内外で注目
職人歴約 40 年を誇る代表取締役は現代の名工に認定



平成4年の創業以来、理美容ばさみを専門に自社製造、直接販売のスタイルを守り続けている。常時2000丁以上のパーツをストックし、顧客の要望に合わせて組み合わせるカスタムオーダーが特徴だ。また、年間5000丁以上の研ぎやメンテナンスサービスも行っている。HRC67と呼ばれる高硬度の素材を使用したはさみを業界で初めて製造し、「プレミア和歌山」や「和歌山県企業ソムリエ」に認定。最高の技術を駆使した高品質なはさみに、国内はもちろん国外からも注文が舞い込んでいる。創業者で代表取締役の林伸昭氏は職人歴約40年を誇り、卓越した技能者として、平成30年度に現代の名工に認定、厚生労働大臣表彰を受けた。

代表取締役 **林 伸昭**

補助事業

時代や市場ニーズに合った製品を、機械化により提供

10年前に同社が製造していた理美容ばさみの種類は約100種類だった。しかし、ヘアスタイルの変化や、美容師のカット時間のスピードアップ化により、求められるはさみは現在300種類に増加している。市場のニーズに合った多種多様な商品を、短納期・低コストで提供し続けていくためには、手作業の機械化や外注加工の内製化、要求精度の向上など、さまざまな工夫が必要とされる。

同補助事業では、同社が今まで蓄積してきた製造のノウハウを反映した新規NC制御自動研削機、「理美容鋏（ばさみ）研削機（裏スキ・刃付け用）」（NVG4-200）を導入。上記の課題を解決しつつ、シェア・売り上げの増加も目指す。



成果

作業時間の大幅な短縮と内製化により 利幅増と価格変動に対応する体制を構築

今回導入したNC制御自動研削機は、従来手作業だった研削を、4台のモーターによる4軸制御により機械で行うことで、手仕上げに要する作業時間の大幅な短縮化が実現した。例えば、4カ月前後掛かっていた刃材加工が1、2日に激変している。

外注加工から内製化にしたことで、高精度の加工が容易になり、その後の手作業の時短も可能となった。また、外注加工依頼による1ロット発注から、自社での必要な分のみの加工で済むようになり、在庫の減少、キャッシュフローの安定に結び付いたことも、内製化にした利点につながり、利幅アップと今後の価格変動にも対応できる体制を構築できた。以上のことから、コスト削減ならびに生産数量の増大により、販売増を見込めるようになった。また、これまで積極的に取り組んでこなかった海外への展開、利用業界への進出も可能となった。



今後の展開

“魔法のはさみ”を次世代に… 量産体制の構築と後継者の育成

手作業での仕上げ機械加工と伝統的な製造方法の融合により生み出される、唯一無二の“魔法のはさみ”。理美容師一人ひとりの手にフィットし、長期にわたるメンテナンスフリーを実現した技術で高い評価を得ている同社が次の目標に掲げるのは、クオリティーを落とさずに量産させる体制の構築と、職人ならではの知識とノウハウを持った後継者の育成だ。

会社概要

会社名	有限会社ハヤシ・シザーズ
代表者	代表取締役 林 伸昭
所在地	和歌山県和歌山市手平6丁目5-74
資本金	600万円
従業員数	12名
業種	理美容ばさみの製造・販売・修理
設立年月日	平成4年2月
TEL	073-427-0913
FAX	073-427-6280
E-MAIL	info@hayashi-scissors.com
URL	http://www.hayashi-scissors.com

株式会社 山 利



会社紹介

160年以上にわたって、しらすを加工、販売し続ける老舗店
七代目が引き継ぎ、時代に即した経営スタイルを展開中



和歌山市本脇で160年以上にわたり、水産加工業を営む。西脇漁港で水揚げされたしらすを、釜揚げ、天日干しちりめん、つくだ煮などに加工販売。「金印 特上釜あげしらす」や「金印 特上天日干しちりめん」は、全国水産加工たべもの展で水産庁長官賞を受賞している。

商品は地元スーパーマーケットや飲食店などに卸すほか、自社のHPでネット販売も行っている。平成28年には加工場内に直営店をオープンし、加太を訪れる観光客の立ち寄りスポットとして注目を集める。また、サーファーへのサポートや和歌山の街を元気にするイベントの主催・協賛などを通じた社会貢献にも尽力している。

七代目店主 木村 尚博

補助事業

新型自動釜の導入で目指す
作業時間短縮や品質の向上

しらすの煮沸、水切り、冷却までをライン上で加工できる新型自動釜を、同補助事業を利用して導入した。導入理由は、衛生や鮮度など加工の質の向上、作業時間の短縮、スムーズな機械操作による省エネ化の実現などが挙げられる。また、これらの課題を解消し、作業効率を上げて時間を創出することで、新商品開発や販路拡大などに取り組み、事業をさらに広く展開していきたいと考えた。特に、同社の売上高の約8割を卸売販売が占めているため、今後は一般小売販売の強化を目標の一つに掲げている。

導入した新型自動釜（河村バーナー製作所／FAB-2500-TC-800）は、長年の信頼関係がある釜装置の製作会社に相談し、オーダーメイドしたものである。



成果

時間創出による事業展開が実現し
オンラインストアや直営店をオープン

新釜を導入したことで、同補助事業の計画通りに上記の課題の解消が実現された。例えば、旧釜では釜揚げしらすを1時間に1t生産していたが、新釜では同じ時間で1.5tの生産が可能に。また短時間で加工できるため、乾燥による質の低下や雑菌の発生を抑え、より質の高い商品の提供もできるようになった。

また、旧釜は操作が難しく、経歴の一番長い代表が現場に張り付かなければならなかった。しかし新釜はボタン式の操作で簡素化されたことで従業員に任せ、代表は他の業務を行えるようになった。さらに、今までは釜の清掃を3人が1時間30分掛けてしていたが、2人で1時間で終わらすことができ、短時間でも衛生的清掃が可能になった。以上のことから人的資源の問題も解消され、時間創出による事業展開がかない、オンラインストアや直営店の開設につながった。



今後の展開

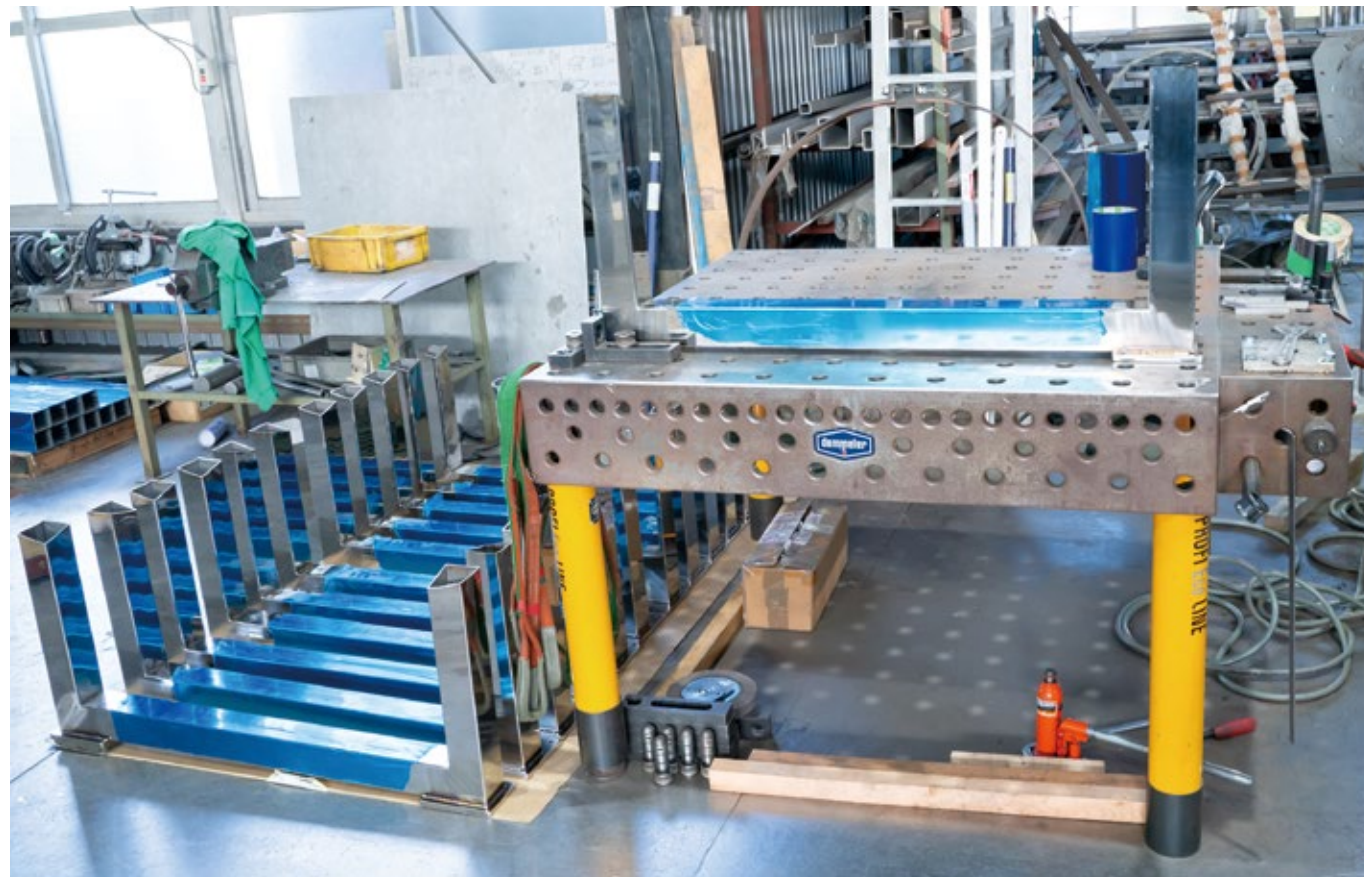
今後は県外にも商圈を拡大
商品開発も着々と進めている

今後は県外にも商圈を拡大し、食のイベントでしらすのケータリングを行うなど、さまざまな方法で商品をPRし、営業機会を増やす意向だ。また、顧客が求める商品のリサーチにも力を入れ、時代に即したオリジナル品の開発も展開する。凝ったパッケージデザインと少量サイズが「ちょっとしたギフトに最適」と、好評を得ている商品もすでに生み出している。

会社概要

会社名	株式会社山利
代表者	代表取締役 木村 恵一
所在地	和歌山県和歌山市本脇543
資本金	1,000万円
従業員数	9名
業種	水産加工業・販売業
設立年月日	平成21年
TEL	073-455-0013
FAX	073-451-0313
E-MAIL	info@yamari.info
URL	http://yamari.info

株式会社雑賀製作所



会社紹介

社内で生産を完結できる“ステンレス一貫主義”が強み
高水準な技術と設備で顧客が求める製品を生み出す



代表取締役 雑賀 孝之

昭和52年の創業以来、金属加工に取り組み、中でもステンレスの加工に特化した事業を展開してきた。平成27年に法人化し、「株式会社雑賀製作所」として新たにスタートした。

主力製品はステンレス製のタンクや配管、架台などが挙げられ、形状やサイズなどさまざまなリクエストに対応するため、技術を磨き、設備も充実させている。また、材料手配から展開、切断、曲げ、機械加工、溶接、酸洗い、バフ研磨、組立、検査、出荷に至るまで、社内で一貫して生産できる体制を整えている。製薬、化学、造船、食品、水処理、機械装置、建築など多岐にわたる分野では、同社の製品が活用されている。

補助事業

多品種少量生産のニーズに応えるために新装置を導入

同社では近年、得意先件数の増加とユーザーニーズの多様化に伴い、製造する製品が多品種少量生産化の傾向にあった。複雑な立体形状の製品を製作するには組立・溶接用の治具が必要だが、多品種少量生産に合わせて治具を設計製作するには多大な時間と熟練した職人技術が必要とされる。

これらの課題を解消するために、同補助事業で「3D作業用クランピングテーブルシステム」(デメラ/PE28 01056-001型)を導入。組立式で、汎用性が高く、製品ごとの専用治具を作る必要がなくなるため、生産性の向上、治具の原材料や廃棄処分費などのコスト削減が期待できる。また、作業員や条件による品質のばらつきを一定化させることも可能となる。



成果

高品質な製品を低コストで供給でき 一部上場企業との取引にもつながった

同補助事業の成果として、「品質の向上」「生産性の向上」「コスト削減」「環境負荷の低減」の4つが挙げられる。「品質の向上」では、複雑な立体形状や角度の付いた製品でも、新設備を使用することで組立や溶接の精度が向上し、品質が格段にアップした。「生産性の向上」は、専用治具の製作時間を製品の加工時間に充てることができ、年間約120万円の生産性向上につながった。「コスト削減」は、専用治具の製作に掛かっていた原材料費(年間45万円)が削減できた。そして、「環境負荷の低減」に至っては、治具の廃棄処分が不要となるため、その費用(約10万円)も必要でなくなった。

高品質な製品を低コストで市場に供給することが可能になり、その結果、一部上場企業との取引につながった。これを機に、さらなる受注拡大に向け、新装置を十二分に活用していく予定だ。



今後の展開

新しい技術を武器に、環境や エネルギー産業の販路を拡大

「この新装置の導入で、造船産業からステンレスタンクや配管、架台の受注をもらいました」と話す、雑賀孝之代表取締役。「立体的で精密な製品作りが可能になったので、複雑な形のパイプが必要とされる環境・エネルギー産業に、弊社のものづくり力を貢献できれば」。特に水処理産業での需要は今後ますます広がると考えていて、実際に同業界のメーカーと新規取引も決まっている。

会社概要

会社名	株式会社雑賀製作所
代表者	代表取締役 雑賀 孝之
所在地	和歌山県日高郡日高町荊木648-1
資本金	500万円
従業員数	12名
業種	ステンレス製品製造業
設立年月日	昭和62年
TEL	0738-63-2426
FAX	0738-63-2471
E-MAIL	info@saika-ss.jp
URL	http://www.saika-ss.jp

大谷産業株式会社



会社紹介

**邸別生産でオーダーに応えるシステム収納シリーズが好評
銀座や御堂筋に直営店を設け、顧客を幅広く獲得**



昭和48年に創立以来家具製造を営み、開発研究に切磋琢磨し続けている「大谷産業」。和歌山市に本社工場を構え、オーダーに応じた受注生産体制を標準化。「丁寧さ」と「品質」をテーマにした邸別生産でありながら、大量生産・大量在庫される製品に比べて、遜色のない納期を実現するシステムを確立している。平成10年には、「ギャラリー収納」名で直販店をスタートし、日本人の暮らしと住まいに定着するスタンダードなスタイルの生活収納家具を販売。東京の銀座や大阪の御堂筋に店舗を置き、自社製品を展示したり、相談カウンターを設けたりして、ライフスタイルにこだわりを持つ顧客の獲得に成功している。

技術・開発室長 **岡田 信生**

補助事業

家具加工の高精度や速さに対応すべく最新機を導入

収納家具製造販売会社として、約5万件の実績を積み、マンションや戸建てなどさまざまな生活スタイルに適した家具を提供してきた同社。今後の動向としてリフォーム需要にも目を向け、それに対応できる家具作りにまい進する意向であることから、家具の形や用途、デザインにも開発を急がなければならないと考えた。そのためには、加工内容の複雑化、精度やスピードの高度化に対応することが必要不可欠となる。側板加工工程において重要である最新のNC複合機を使えば、特殊変形加工への対応、側板加工時間の短縮などがスムーズに行うことができる。その結果、今まで月受注数700台を900台にまで伸ばせることが分かったため、同補助事業で同機を導入することにした。



成果

側板加工時間の35%の短縮に成功 高精度家具で顧客満足度も大幅にアップ

「側板の加工工程で、穴加工・特殊形状加工の高度化による時間短縮の改善」を目的に導入した新型NC複合機は、丸仲商事のM272/20H-MDX-B2型。従来のものより、カッター歯の剛性、切れ味、刃先の耐久性のクオリティーが高いことから、ブレやバリの発生率が低く、希望以上の精度を確保。それに伴い、顧客満足度も大幅にアップした。また、刃物のセット替えをワンタッチ交換化できることで、1枚当たりの穴加工平均時間が7.4分から3.2分に、1枚当たりの特殊形状加工平均時間が17分から7～8分と、作業時間の短縮にも成功。また、作業中の安全性も高まった。

さらに、新型NC複合機の導入に合わせ、作業員向けにオペレーターの教育訓練を実施。設備の最大能力を引き出せるスキル向上による人的効果も得られた。



今後の展開

新企画の商品開発に挑戦し、 顧客が求める家具作りにまい進

事業導入の結果、顧客が求める機能性、高品質、デザイン性、コストのバランスが取れた家具の生産の可能性が高まった。加えて、特別オーダー品を短納期で提供できる生産体制を確立し、拡充した顧客層からの受注に応えられ、3割の増収が見込める。また最新型加工機により、複雑な形状加工が可能となったので、今後差別化された新デザインの新企画商品の開発にも取り組む意向である。

会社概要

会社名	大谷産業株式会社
代表者	代表取締役 大谷 竹男
所在地	和歌山県和歌山市北野201
資本金	1,000万円
従業員数	40名
業種	家具の製造および販売
設立年月日	昭和48年5月15日
TEL	073-462-1555
FAX	073-461-8002
E-MAIL	o-office@axel.ocn.ne.jp
URL	http://www.otani-s.com/

株式会社たにぐち



会社紹介

チョコレートを中心に「顧客満足を得る商品づくり」
高水準の食品安全マネジメントシステムで安心も一緒に



統括工場長兼商品開発部部長 谷口 嘉人

チョコレートを中心に、常に新しいスイーツを提供。「顧客満足を得る商品づくり」をモットーに、企画やデザイン性に優れ、オリジナリティーあふれるものを基本に、OEM等においても顧客との親密なパートナーシップを築いている。ポンポンショコラと焼菓子の製造をベースに、開発・品質管理部門を設けて生産現場における中枢機能を担う「和歌山工場」と、隣接する「日高川工場」では主力のチョコレートオーナメントを専門に製造。いずれもISO9001をいち早く取得し、食品の安全をさらに追及したFSSC22000も和歌山工場・日高川工場の両工場において取得。国際的にも高水準の食品安全マネジメントシステムを運用中だ。

補助事業

豊富な経験を生かした新技術であらゆる顧客のニーズに応える

大手菓子メーカーから全国の洋菓子店まで、あらゆる顧客のニーズに対応できるよう日々、これまでに培った豊富な経験を生かして新技術に挑戦。その中で支持されてきたのがケーキ用のオーナメント。デザイン性のある手作業の商品を、手作り感を損なわずに機械化し、大量生産することで低価格化を実現してきた。それらの多様化に応えつつ、品質と効率性の向上を目指し、同事業においてCAD機能付きで2種類の原料を同時に充填できる機械の導入を検討。デザイン性のあるオーナメントのクオリティーを保ちつつ、さらに2つ以上の味覚を味わうことができ、商品開発においてもデザインに味覚がプラスされることから、他社比較としてより一層の優位性を確保することが期待された。



成果

期待以上の生産性の向上とコスト削減
市場シェアを盤石に単価アップを目指す

同機械の導入により、期待した生産性の向上とそれに伴うコスト削減の可能性を確認。中でも目立ったのが、全体の作業効率の向上と1日の生産数の増加である。通常4名の作業が3名で可能になり、さらに2種類の原料を使用した従来品を2台から1台で製造することで、生産能力が20%も改善した。当然これらがコスト削減へも結び付く。今回、これらの成果をもって全国の洋菓子店約16,000店のほか、大手製パンメーカーやコンビニ等、材料卸会社のネットワークを利用して販路を拡大。チョコレートオーナメントの年間販売数量8,000万個に、新製品を投入して販売数量を200万個増加した。また国内で同社のみ販売している2色原料の商品を拡充し、短期間で市場シェアを盤石なものにするため販売戦略を強化。単価の低い商品は、ショートケーキやクリスマスなどデコレーションケーキのワンポイントに、単価の高いものは販売単価が高いデコレーションケーキをターゲットにする。



今後の展開

チョコ=冬のイメージを払拭して
ゼロベースのアイデアを構築する

従来、職人たちが手作りしていたオーナメントやプラリネを、製造機械から開発して量産化を実現。ただチョコレートという商品の性質上、冬の作業に集中することが多く、現在一年を通して安定的に仕事と人を確保するため、新しい分野へのチャレンジを検討している。大型の冷凍倉庫も完備していることから、顧客の要望を具現化しつつ、ゼロベースのアイデアの創造に意欲を燃やす。

会社概要

会社名	株式会社たにぐち
代表者	谷口 壽
所在地	和歌山県日高郡日高川町和佐1030、本社/大阪市東住吉区桑津3-28-7
資本金	2,000万円
従業員数	151名(パート5名含む)
業種	自社製品の企画・開発、製造、販売、OEM製品の企画・開発、受託製造
設立年月日	昭和54年10月1日
TEL	0738-53-0866
FAX	0738-53-0868
E-MAIL	factory@taniguchi-net.com
URL	https://www.taniguchi-net.com

金剛ダイス工業株式会社



会社紹介

工具の設計から製造まで、一貫した製造工程の管理 半世紀にわたる実績とノウハウでお客様の最適を提案



長年培ってきた超硬合金に微細加工を施す技術を生かし、ネジや小型金属部品を中心とした冷間鍛造用工具および金型を製造。特に微細加工と日々進歩するあらゆる分野の技術を融合し、工具の設計から製造まで一貫した製造工程の管理を行い、より良い製品を届けている。製品は自動車関連から電子部品、自転車、スポーツ競技など多岐にわたり、あらゆるものづくりを支えるのに不可欠な材料となっている。重視するのは、お客様ごとの最適な成形手順。それぞれのボトルネックをヒアリングし、熟知した上で量産やコストダウンに対応できる図面を設計。一歩先ゆく提案で、お客様のものづくりを会社全体でサポートしている。

代表取締役 廣尾 敬雄

補助事業

ワイヤー放電加工で高める いい製品づくりと競争力

今回、同事業を活用することで計画したのは「ワイヤー放電加工を使った小径異型穴金型の高精度化と生産性の向上」である。年々進化するミクロンレベルの精度要求に応えつつ、それぞれの「いい製品づくり」に貢献し、お客様の競争力を上げるのが狙い。ワイヤー放電加工を使った高精度電極を作成することで、より細かな仕上げ面を持つ電極作成が可能となり、金型の高精度化と生産性が向上すると考えた。中でも、穴径φ0.4~8の小径異型穴ヘッダーダイスを得意とし、加工できる範囲はφ0.25~16。丸穴だけではなく、複雑な形状の穴加工も可能で、自動車や電気製品用部品のほかにも、幅広い分野の部品に対応。また鉄系の材料以外に、銅合金やチタン合金などの鍛造にも対応できる。



成果

複雑かつ高精度な金型の要求にも迅速に対応 お客様の競争力を高めていくことが同社の強み

成果としてもっとも貢献したのは、鍛造による材料強化が得られた小型部品を必要とする分野。例えば弱電業界、スポーツや医療で利用される自転車や車いすなどの移動器具、軽量小型化を生かした航空・宇宙分野である。特に部品に、締結と回転機構といった複数の機能や役割を持たせるには、複雑かつ高精度な金型が求められるため、同事業で得られた成果は、お客様の競争力を高めていく結果につながった。もちろんお客様からの量産要求にも、生産性が向上していることから、十分に対応が可能で、高精度化で価格競争力も高く、同社の強みとなっている。部品の製作工程としては、まず金型を試作し、それによって得られる製品がこれまでの製造方法と比べて、精度が上がっているか、さらに金型寿命に変化がないかなど、評価を見極めてから進める。並行して、さらなる生産性の向上を目的とした加工条件の選定と成果のマニュアル化、人材教育プログラムの更新・実施も行っている。



今後の展開

成果が人類の快適な暮らしに直結 柔軟な発想力を武器に世界へ飛躍

スポーツや医療、航空・宇宙分野は、これからの事業として将来性があり、人類の快適な暮らしに必要な業界であることから、同事業の成果がこれからの業界発展に貢献すると考えている。現在、拡販に向けたPRを展示会などの場を利用して実施。すべてのお客様にとって「ナンバーワンパートナー」となるため、ものづくりの本質となる柔軟な発想力を武器に、世界にも目を向けている。

会社概要

会社名	金剛ダイス工業株式会社
代表者	代表取締役 廣尾 敬雄
所在地	和歌山県海草郡紀美野町小畑144-3(本社:大阪市)
資本金	2,000万円
従業員数	23名
業種	小径穴冷間鍛造金型の設計と製造、耐摩耗用超硬工具の設計と製造
設立年月日	昭和40年7月5日
TEL	073-489-2047
FAX	073-489-4338
E-MAIL	concierge@kongodies.jp
URL	http://www.kongodies.com

平成 27 年度補正

ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金

概 要

事業の目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型があります。
それぞれについて「1. 一般型」、「2. 小規模型」、「3. 高度生産性向上型」がある。

	革新的サービス	ものづくり技術
一 般 型	・補助上限額：1,000万円　・補助率：2／3以内　・設備投資が必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	
小 規 模 型	・補助上限額：500万円　・補助率：2／3以内　・設備投資可能（必須ではない） ・補助対象経費：機械装置費、原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、 知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、クラウド利用費	
高度生産性向上型	・補助上限額：3,000万円　・補助率：2／3以内　・設備投資が必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【革新的サービス】

- (1)「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (3)（高度生産性向上型のみ）「IoT等を用いた設備投資」を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5％を達成する計画であること。

【ものづくり技術】

- (1)「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画（3～5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画）であること。
- (2) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (3)（高度生産性向上型のみ）「IoT等を用いた設備投資」を行い生産性を向上させ、「投資利益率」5％を達成する計画であること。

補助率等

補助事業		補助率	補助上限額 （下限額）
類型	対象経費の区分		
一般型 （革新的サービス、ものづくり技術）	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費	補助対象経費の 3分の2以内	1,000万円 （100万円）
小規模型 （革新的サービス、ものづくり技術）	機械装置費、原材料費（※） 技術導入費、外注加工費（※） 委託費（※）、知的財産権等関連経費（※） 運搬費、専門家経費、クラウド利用費（※） （※＝設備投資のみの場合は対象となりません）		500万円 （100万円）
高度生産性向上型 （革新的サービス、ものづくり技術）	機械装置費、技術導入費、運搬費、専門家経費		3,000万円 （100万円）

平成

27

年度

採択事業成果事例

プラム食品株式会社



会社紹介

良質な紀州の梅そのものを楽しむ梅果実加工品
丁寧な仕込みを信条とし真心込めて梅商品を届ける



昭和44年の創業以来、紀南の地で梅とともに歩んで半世紀余り。手掛けるのは、梅の飲料から梅酒、梅ワイン、ジャム、ゼリー、梅の甘露煮など、梅干し以外の商品。もともと創業のきっかけが、規格外となった梅をどうにかしたいと梅農家のために立ち上がったもので、今でもその思いを受け継ぎ、丁寧な仕込みを信条として、真心込めて梅商品を製造・開発・販売している。現在では、大手酒メーカーの委託充填、梅加工品の供給、和菓子メーカーへの提供、通信販売、または県内の土産物店やホテルなどでの取り扱い。梅果実の新たな可能性を模索。梅がもつ酸味や果肉感を生かした菓子原料素材の商品化に着目した。

専務取締役 長井 俊 暁

補助事業

青梅の味・色・果肉感を残す菓子原料素材で利用を広げる

これまでの梅食品は、梅酒残渣のカット品や梅干しの乾燥品等で、梅本来の風味や食感を生かしたものが少なく、梅の砂糖漬けにおいては、ケーキや饅頭などに練り込まれることがほとんど。もっと梅本来の美味しさを伝える商品として、青梅の味・色・果肉感を残した菓子原料素材で、利用を広めようと開発に乗り出した。試作・開発には同社で応用できる機械を使用。顧客の和菓子メーカーに提案したところ好評を博し、継続採用が決定したものの、濃度のバラツキや果肉の硬さに差がでるという課題に直面した。それらの問題を解決するため、梅の糖漬けから乾燥まで製造能力を整備し一定化。生産プロセスの改善を行い、梅の風味と果肉感が安定した菓子原料素材を作ろうと考えた。



成果

課題解決に注目したのが全自動豆煮釜 一からの試行錯誤で良質な製品が完成

現行で青梅の味・色・果肉感を残した商品を製造する機械はなく、試行錯誤の中で、容量の適正化と温度差発生防止に適した「全自動豆煮釜」に注目。併せて、作業の効率化と乾燥ムラを防ぐため「食品乾燥機」も、同事業を活用して購入した。課題となっていた濃度のバラツキや硬さの要因は、容量の大きい減圧濃縮機の処理能力にあり、乾燥機においても加熱温度や吸排気等、調整が難しく上下部の乾燥ムラが発生することが分かっていた。それらの問題も、全自動豆煮釜の均一な加熱・濃縮で、梅実の果皮や果肉の硬さに差がなく、仕込んだすべての梅実が均一に仕上がり、温度制御と湿度調整ができる食品乾燥機のおかげで、熱による果肉軟化の防止が図れ、しっかりと質感のある梅果肉を保持。糖分や温度の均一化により、バラツキのない良好な製品となった。現在、梅の原料不足もあり増産は難しいものの、他の和菓子・洋菓子メーカーにサンプルを配布し、拡販を計画中である。



今後の展開

梅の再生利用を考えて連携 共存共栄で地域を盛り上げる

同社の梅果汁は、冷凍保存した梅を独自の製法で搾汁。熱を加えず、梅の味や栄養素をそのまま搾汁するため、原料にもこだわり梅の量も要する。しかし現在、梅農家の減少や梅干しブームもあり、生梅の確保が難しいのが現状。その中においても、常に梅の再生利用を考え、梅の価値を高めるために、産学官連携による研究・プログラムにも積極的に参加し、梅農家との共存共栄を志す。

会社概要

会社名	プラム食品株式会社
代表者	代表取締役 長井 保夫
所在地	和歌山県西牟婁郡上富田町生馬1474-1
資本金	8,000万円
従業員数	90名
業種	梅飲料や梅果実加工品、酒類(リキュール・果実酒)の製造・販売、委託加工
設立年月日	昭和44年10月3日
TEL	0739-47-2895
FAX	0739-47-0867
E-MAIL	plum-info@plumone.co.jp
URL	https://www.plumone.co.jp

平成 28 年度補正

革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

概 要

事業の目的

国際的な経済社会情勢の変化に対応し、足腰の強い経済を構築するため、経営力向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための中小企業・小規模事業者の設備投資等の一部を支援する。

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び開発拠点を有する中小企業者に限る。本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第2条第1項、【革新的サービス】で申請される方は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」第2条第1項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の2つの類型がある。また、それぞれについて、「第四次産業革命型」「一般型」「小規模型（設備投資のみ、試作開発等）」の事業類型がある。補助率は、補助対象経費の3分の2以内。

事業類型 \ 対象類型	革新的サービス		ものづくり技術
第四次産業革命型	・補助上限額：3, 0 0 0万円 ・補助率：2／3以内 ・設備投資：必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費		
一般型	・補助上限額：1, 0 0 0万円 ・補助率：2／3以内 ・設備投資：必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費		※雇用増(維持)をし、5%以上の賃金引上げについては、補助上限を倍増 ※最低賃金引上げの影響を受ける場合については、補助上限をさらに1.5倍
小規模型	設備投資のみ	・補助上限額：5 0 0万円 ・補助率：2／3以内 ・設備投資：必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費	
	試作開発等	・補助上限額：5 0 0万円 ・補助率：2／3以内 ・設備投資：可能（必須ではない） ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、クラウド利用費	

補助対象要件

申請事業は、下記の要件を満たすことが必要である。

【共通】

- (1) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性について認定支援機関により確認されていること。
- (2) (第四次産業革命型のみ) 「I o T・A I・ロボットを用いた設備投資」を行うこと。

【革新的サービス】

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス 提供プロセスの改善であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3％及び「経常利益」年率1％の向上を達成できる計画であること。

【ものづくり技術】

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、生産性を向上させる計画（3～5年計画で「付加価値額」及び「経常利益」の増大を達成する計画）であること。

平成

28

年度

採択事業成果事例

株式会社オージャス



会社紹介

プライベートを完全に守りながらリラックス温泉タイム
カジュアル料金の露天風呂付き客室で海の絶景に出会う



和歌山県の南岸にあるリゾートタウンで、温泉と白砂のビーチで知られる日本屈指の観光地・白浜町。その中でも湯治場であり、静かな穴場として親しまれる椿温泉エリアで「XYZ Private spa and Seaside Resort」を運営している。部屋数は全16室で、いずれも海に面したオーシャンビュー。さらに観光客を楽しませるのが、太平洋の大海原を望む遮るもののない露天風呂。全部屋に完備され、訪れる人たちを驚かせている。「露天風呂付きの客室といえば豪華で高価な印象があると思います。その概念を壊して、カジュアルにできるだけ安価に、ただただ海と温泉を楽しんで欲しくて…」と、代表取締役でオーナーの金田紀彦さんは言う。

代表取締役 **金田 紀彦**

補助事業

あらゆる状況でも楽しめる
露天風呂客室の最終進化形

“露天風呂客室の最終進化形”と位置付けて計画したのが、同事業の活用により取り入れた「日本国内には存在しない電動開閉式露天風呂」だ。日本人にしても外国人にしても、白浜旅行の第一目的は温泉。富裕層は年に何度も温泉旅行を楽しめるが、一般の人は年に数回。それが外国人となると一生に一度かもしれない中で、天候に恵まれないと白浜旅行の評価が下がってしまう。そこで天候に関係なく、温泉を楽しみ、雄大な海の絶景を楽しんでももらいたいと企画・開発。客室露天風呂の屋根部分と前方の壁部分を電動でスライドさせる機械装置をオーナー自らが考え、インドネシアのBARRYFANITUREに発注し導入。あらゆる状況でも客室で温泉を露天風呂で楽しめる環境を整えた。



成果

「客室露天風呂革命である」と高評価
インバウンドの白浜誘致にも大きく貢献

露天風呂から望む海の近さは国内でも指折り。天気が良い日は屋根部分と前方の壁部分を全開にして絶景を楽しみ、天気の悪い日や少し開放感が気になったら、リラックスできる高さに電動で調節できる。ある旅館評論家からは「客室露天風呂革命である」と評価され、現在、各旅行サイトの口コミでも高い評価を得ている。また旅行につきものの食事に関しても、地元の野菜や魚介類などをオープンテラスのレストランで提供。こちらも同事業の活用により設置した「レストラン用可動式屋根」で、夏場は天井を開けて開放的に、雨の日や冬場は外気を遮断して温かい食事を楽しんでもらっている。ただ課題となった台風や暴風などの自然災害には、製作を依頼したBARRYFANITUREから、2名のスタッフを常駐させ、さらなる改良を重ねてコストの検証を実施。Booking.comやエクスペディアの海外予約サイトにも掲載後、外国の旅行者にも着実に浸透し、白浜への誘致に大きく貢献している。



今後の展開

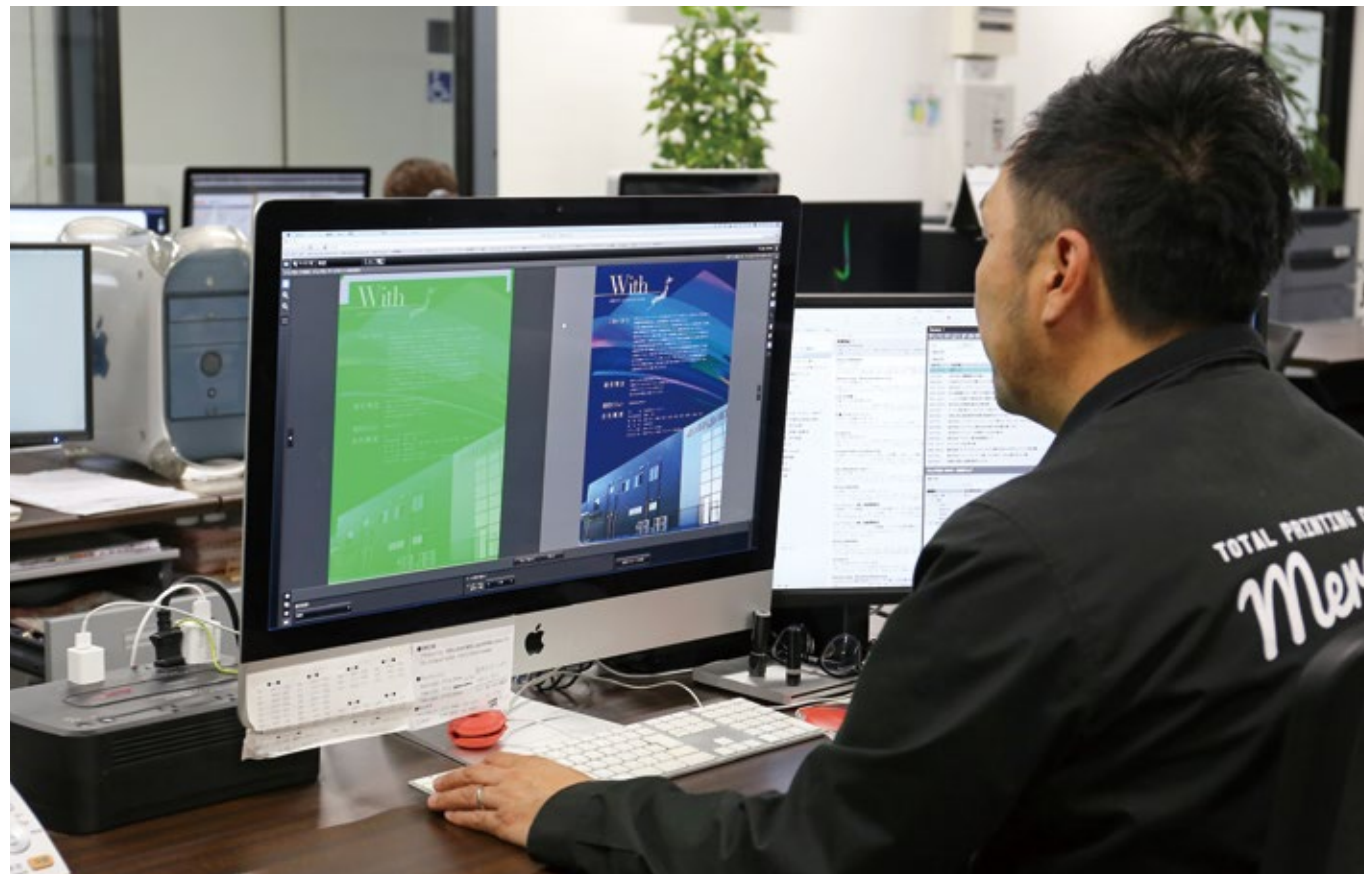
製品化も視野に入れて国内外へ
温泉旅館のノウハウを海外にも

白浜温泉は年間190万人が宿泊する温泉観光地である。その中で椿温泉エリアは、強風や塩害における機械装置の過酷な実験場であると認識。機械装置の動作を徹底的に検証し、問題点が出れば解決・改良しながら、製品化も視野に入れている。販売は、高級住宅街や高速道路のサービスエリアなど。今後は日本の温泉旅館形式の運営ノウハウを海外にも提供し、共同運営にも着手する予定だ。

会社概要

会社名	株式会社オージャス
代表者	代表取締役 金田 紀彦
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町椿1065-3
資本金	3,000万円
従業員数	17名
業種	温泉旅館の企画・運営
設立年月日	平成22年
TEL	0739-46-0333
FAX	0739-46-0666
URL	https://xyzresort.xyz

株式会社マージネット



会社紹介

ベストパートナー企業として感動を届けるサービス
 見せる工場・見えない情報で24時間警備体制を徹底



平成元年にデザイン会社として始まり、平成14年には印刷機や製本機を導入して総合印刷会社となる。以降、和歌山県内初のUVオフセット6色機を導入するなど、独自性を持った設備投資を積極的に行い、他社との差別化を図ることで規模を拡大。現在、デザインから印刷、製本、加工、在庫保管、出荷まで、ワンストップで対応できる体制を構築し、自社の長を最大限に生かしながら「お客様のベストパートナー企業」として、県内外へと仕事の幅を広げている。中でも評価されているのが、24時間警備体制の中で管理を徹底している高セキュリティな印刷工場。個人情報保護強化を図るべく、プライバシーマークも取得している。

代表取締役社長 池田 朗

補助事業

「省力化」と「見える化」で
 生産工程全体の効率化を目指す

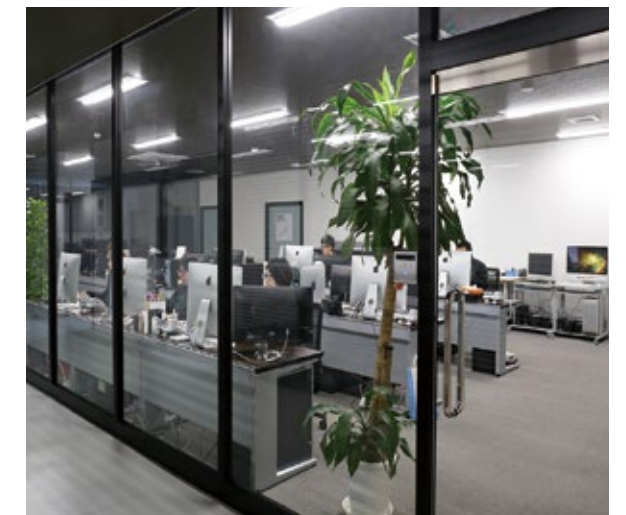
取引先から支給されるデータの多くは、不完全なものであり、修正のやりとりなどに時間が取られ、納期の遅れや社内での製造体制の変更を余儀なくされてきた。また全国でも数少ない圧着ハガキに特化したWebサイトを運営し、他社とは違う営業戦略を展開するも、訪問ではないため効果的に他の印刷物の受注につなげることができなかった。さらにWebサイトを通じた取り引きのため、事前の受注予測が難しく、急遽の変更等もあり、ほかの業務に支障をきたす事態。入稿回数が増えるほど利益が減少し、それにかかる時間も膨大なため、生産性も著しく低下。それらの課題を打破するために、ハイブリッドワークフローシステムと印刷業総合業務管理システムの導入に踏み切った。



成果

双方向でリアルタイムに情報を共有
 効率化と生産性の向上が数字に表れる

同システムは、すべての情報を「見える化」し、双方向でリアルタイムに内容を共有する革新的なサービス。ワークフローシステムは、データ入稿時に自動確認機能が備わったサーバーを経由するため、データ不備に対してシステム側から取引先に通知。即時訂正が可能となり、入稿データのやりとりによるタイムロスがなくなった。また業務管理システムでは、全工程の一括管理と社内共有ができるようになり、さらに取引先に向けては商品の進捗状況をWeb上で公開。両システムを連携することで、それぞれの取引先に向けた仮想工場化を提供でき、顧客満足度が向上した。また取引先ごとの専用ページに、自社の広告画像を盛り込むことで、商品PRも随時行っている。生産性においても情報の見える化で、機械やオペレーターのアイドルタイム（無作業時間）をなくすことができ、業務の効率化と生産性が向上。印刷機の1日の印刷案件数や営業担当者1人あたりの顧客数も増加し、数字として表れている。



今後の展開

本来のシステム能力が発揮される
 社員一人ひとりの意識改革が鍵

業務の効率化と生産性に、クリエイティブなものづくりが求められる印刷業界にあって、見える化＝監視と捉えられる側面もあった。その中でシステムを活用しながら、使う側の意識も改革。取引先だけでなく、社員一人ひとりに利便性や優位性を感じてもらうことでシステムを有効活用。営業から経理まですべてに、価格と時間管理の意識が根付き、余力をもって新規開拓に挑んでいる。

会社概要

会社名	株式会社マージネット
代表者	代表取締役社長 池田 朗
所在地	和歌山県西牟婁郡上富田町生馬811-1
資本金	1,600万円
従業員数	38名
業種	各種デザイン・印刷・アセンブリ・配送業務
設立年月日	平成元年7月17日
TEL	0739-83-3344
FAX	0739-83-3322
E-MAIL	ad@mergenet.co.jp
URL	http://mergenet.co.jp

株式会社インテリックス



会社紹介

**「窓辺から暮らしに彩りを」届けるオーダーカーテン専門
コストを徹底カットすることで高品質な商品を低価格で提供**



「窓辺から暮らしに彩りを」をビジョンとし、オーダーカーテンを主軸に、窓装飾インテリア商品を製造・販売。企画からデザイン、生地調達、販売、施工までトータルに、オーダーカーテン業界では初のSPA（製造小売り）企業として成長を続ける。ビジネスモデルとして業界が注目するのは、商社やメーカーを通さず、国内外の織物・染色工場と直接生産契約を行い、企画・製造から卸・小売までを一貫して行う独自のシステム。流通コストやロイヤリティーを徹底的にカットし、高品質な商品を低価格で提供している。直営店13店舗に加え、フランチャイズ7店舗、専門店10店舗と、「ジャストカーテン」ブランドで全国展開中だ。

代表取締役 **木村 明人**

補助事業

お客様第一主義の理念を貫き オリジナルの販売方法を確立

創業当時から一貫して、より高い品質の商品・サービスを適正な価格で提供することを目指し、お客様第一主義の理念を貫いてきた。その一つが、販売方法である。大手メーカーではカタログ帳に5cm程度の生地を貼り付けているのに対し、同社では高さ約2mのひだのついたカーテンを店頭で展示。質感や色柄が実寸大で確認できるだけでなく、レンタルサンプルとしても貸し出し。「部屋に吊ったイメージが分かる」と好評価で、販売の要になっている。ただ実際にサンプル製作は外注に出すこともあり、納期の問題や大量のバックストック、なにより新柄の発表と店舗リサーチの機会損失につながる恐れがあったため、今回自社でサンプルを製作することができる機器類の購入に踏み切った。



成果

家庭内での「品質の見える化」で成約率が向上 さらにどこよりも早く新柄をオンタイムで店頭

今回、オーダーカーテンの各種サンプルを製作するのに必要な「自動延反機」、「ピンキングマシン」、「ウオーターフォールマシン」、「折りたたみ機」を導入。これにより、配付用とお持ち帰りレンタル用の各種サンプルを自社で製作できるようになり、利便性ととも、家庭内での「品質の見える化」が進んだことで、店舗での接客時間が大幅に削減。さらにレンタルサンプルで成約率が向上しただけでなく、今まで取り逃がしたお客様へのアピールも可能になり、成約率およびお客様満足度を同時に引き上げる結果となった。さらにどこよりも早く新柄をオンタイムで店頭に並べることができ、売れ筋のリサーチにもサンプルが効力を発揮。業界の慣習になっていた3年に一度のリニューアル（カタログ帳の改定）に縛られることなく、自社で売れ筋を判断し、新作を次々に発表することができるようになった。新作は年間30柄以上。販促経費を最小限に、選ぶ楽しみとしてお客様に還元する。



今後の展開

視覚と触覚のダイレクトな刺激 独自のノウハウを海外でも展開

実際に見て触れることができる「品質の見える化」は、Eコマースでも有効であり、これまで限定的であったサンプル配布も大幅に拡大。さらに今後、視覚と触覚のダイレクトな刺激によって、Eコマースに抵抗のある新規層にもPRすることができる。またレンタルサンプルの提供を含めた独自の営業ノウハウは、強力なツールとして海外でも展開可能と考え、世界へと活動の幅を広げる。

会社概要

会社名	株式会社インテリックス
代表者	代表取締役 木村 明人
所在地	和歌山県和歌山市里174-1
資本金	1,000万円
従業員数	311名（パート含む）
業種	オーダーカーテンの企画・製造・販売
設立年月日	平成2年8月
TEL	073-462-7724
FAX	073-462-7758
E-MAIL	info@interix.co.jp
URL	https://www.interix.co.jp

株式会社小谷製缶工業



会社紹介

施工図面の設計、製作、取り付けの一貫体制
質の高い製品作りで顧客との信頼関係を構築



昭和22年に創業し、46年に株式会社として設立。和歌山市岩橋の工場で、金属プレス・板金、建築金物・雑貨の製造を行う。建設用パネルおよび金物は、自社で施工図面を設計し、製作、取り付けまで一貫した責任体制を貫き、顧客の信用を得ている。特に、アルミを中心としたサッシの製造やドアの製造は、同社ならではの技術や経験を反映させた製品作りにおいて取引先との信頼関係を構築し、増産を実現させた実績を持つ。その他、産業機械や工作機械用精密板金加工、蚊取り線香燃焼容器を中心とする精密プレス加工にも対応している。主要な取引先に、YKKAP、三協立山、児玉兄弟商会などがある。

代表取締役 小谷 芳一

補助事業

生産工程の増強を図るため 必要不可欠な新設備を導入

近年、住宅やビルの改装需要が増加しており、アルミ建材の需要も増加傾向にある。これに伴い、同社にも取引先より短納期化や増産の依頼が増えている。また、同社のすべての案件が顧客要望に応じたカスタマイズであるため、それぞれが異なった寸法となるが、常に高精度の仕上がりを目指している。

「顧客満足こそが同社のポリシーであり、競争力の源泉になる」との判断から、生産性を高めるために同事業に取り組むことを決意。「デュアルドライブプレスブレーキ BH25040」(村田機械)を導入し、長尺物に対する曲げ精度の向上や製造時間の大幅な短縮を可能にさせ、同社の技術とノウハウを結合することで生産工程の増強を目指す。



成果

最新鋭設備の導入により、増産、短納期、 加工精度の向上、技術の伝承を実現

補助事業前は生産ラインが1本しかなかったため、社内の生産能力を超えると外注に出すしかなく、短納期の実現を妨げていた。しかし新設備の追加で、生産ラインが2本になり、社内で一貫生産できる体制を構築。今までは段取りと曲げ加工の工程に10日を要したが、2日でできるようになり、結果として増産、短納期化が可能になった。

また、加工精度においても、熟練の作業員が微調整を行ってきたが、最新鋭の設備を導入したことで、設備と熟練工のダブルチェックでさらなる精度の高さが現実化された。さらに、微調整の作業をデータ化することで、同社ならではの高い技術の伝承もしやすくなった。

達成度を数値化すると、20%の増産を実現。短納期化に関しては、段取り・曲げ加工が10日から2日に短縮したことで、全体の工程が12日と短くなった。また、加工精度の向上では、寸法公差が±1mmだったのが±0.5mmにまで可能となった。



今後の展開

生産力向上の安定を目指し 次世代の社員育成に取り組む

同事業により生産性の向上が実現したことから、さらなる注文を受けることが可能となり、増産を重ねていく好循環の環境が整った。今後も生産力の向上体制を安定させるために、増産分の作業を担当する従業員を新たに雇用して教育していきたいと考えている。同時に、同社のもう一つのテーマである、次世代の熟練工の育成にも取り組んでいく意向だ。

会社概要

会社名	株式会社小谷製缶工業
代表者	代表取締役 小谷 芳一
所在地	和歌山県和歌山市岩橋1213-2
資本金	1,000万円
従業員数	27名
業種	金属プレス・板金、建築金物・雑貨の製造
設立年月日	昭和46年
TEL	073-473-2243
FAX	073-473-2289
E-MAIL	kotaniseikan@earth.ocn.ne.jp

株式会社伊藤農園



会社紹介

みかんの里で柑橘類の栽培、生産、加工、販売を行い、
有田を代表する6次産業会社として地域の雇用にも貢献



400年以上の歴史を持つみかんの本場、和歌山県有田市に青果卸売問屋として明治30年に創業。現在は有機肥料を使ったみかん栽培に力を入れ、土づくりからこだわった自家農園を拡張しつつ、柑橘類の生産から、搾汁（さくじゅう）、加工、販売まで手掛けている。オリジナル製品は無添加ジュース、ジュレ、ジャムなど多岐にわたり、「100%ピュアジュース」はモンドセレクション11年連続受賞を誇る。平成22年に農山漁村6次産業化対策事業で新工場を設置。地域の雇用を創出した業績が認められ、28年のアグリフードEXPO大阪2016で「輝く経営大賞」を受賞。同年に直営ショップ「みかんの木」をオープンした。

専務取締役 伊藤 彰浩

補助事業

主要商品の販売と品質を
高めるために機械化に

「ピュアフルーツ寒天ジュレ」は同社の加工品の中でも販売数が年々増加していて、平成24年と28年を比較すると226%もの伸長を示す。しかし、容器のキャップ巻締めを手作業で行っているため、生産能力の低さ、品質の不安定性、短い賞味期限などが問題視されていた。解決策として、キャップ作業を機械化することで、生産能力や品質の問題を解消でき、窒素置換と真空処理が高度になって賞味期限を延ばせることが分かり、同補助事業で「連続真空巻締めキャッパー機」（池田機械工業/MJC-1300V一式）の導入を決めた。同時に、搾汁機の不足と、キャップ作業の機械化で得られた余剰人員の雇用を維持するために、「ステンレス製搾汁機」（森本鉄工所）も併せて導入した。



成果

賞味期限の問題を解消したことから
国外と国内の両方に市場が広がった

同事業に取り組んだ結果、賞味期限の問題を解消したことから、その成果が寄与できる市場が「日本国外」と「国内」の両方にあることが分かった。「日本国外」は、賞味期限を4カ月から6カ月以上に長期化したことで、海外の既存取引先へ新規提案し、売り上げ増を期待。また同事業で導入した搾汁機により、原料果汁の必要量増加にも対応可能で、5年後には年間1300万円の売り上げ増を見込む。「国内」は、日本の食品小売業界では出荷期限が通例として賞味期限の4分の3以上あるものと定められているため、今までは取り扱いを見送られてしまったが、こちらに対応できるようになった。また、時間当たりの生産量が380個から1300個に大幅に上昇し、3.42倍の生産能力を持つため、中元期・歳暮期の需要増加も実現。5年後には生産量を倍増させ、ジュレの商品別売り上げで年間1億2825万円を見込んでいる。



今後の展開

廃棄される皮を利用して
新たな商品開発にも挑戦

同事業により、成長が予測されるジュレ製品市場での競争力の強化と利益率向上のめどが立った。その効果の一つとして、キャッパー機の導入を生かし、令和元年の中元ギフトで新商品をリリースして、好成績を挙げている。また、廃棄される柑橘の皮の活用に関する研究も進めていて、化粧品など新たな商品開発に取り組んでいきたい、と意気込みを見せる。

会社概要

会社名	株式会社伊藤農園
代表者	代表取締役 伊藤 修
所在地	和歌山県有田市宮原町滝川原498-2
資本金	700万円
従業員数	55名
業種	柑橘の農園業、加工・製造販売業
設立年月日	平成21年
TEL	0737-88-7053
FAX	0737-88-5507
E-MAIL	info@ito-noen.com
URL	https://ito-noen.co.jp/

原田織物株式会社



会社紹介

**Made in Japan の品質維持に誇りを持って
繊維製品の企画・製造・販売まで一貫対応**



原田商店として昭和24年に創業し、平成元年に法人組織化。創業以来70年以上にわたり、お客様に本当に満足いただける繊維製品を目指してものづくりを追求してきた。まだまだ機械ではできない工程が多く、日本の職人ならではの繊細なものづくりが息づく。商品は繊維生活雑貨の企画から製造・販売、さらには検品・パッケージングまで自社工場で一貫対応。無蛍光・ノンホルマリンを基本とし、綿やリネン、シルク等の天然繊維からポリエステル、ナイロン、アクリルなど、あらゆる糸を使用して、風合い、肌ざわり、使用感、デザインといったお客様の要望に応える。こだわりは高性能で高品質なMade in Japanの品質維持だ。

代表取締役 **原田 晋平**

補助事業

新分野への販売網拡大を目指し 信頼性を高める環境設備を導入

食品や医療、精密機器業界といった新分野への販売網の拡大を図るため、OEMメーカーとして国内初のクリーンルームを設置した。さらに、それに伴う製造ラインの革新的な合理自動機械化を行い、品質・検品基準と製造環境を大幅に向上させ、より一層の信頼性を土台に売り上げの飛躍を目指した。課題となったのは、高度精密機器分野・医療レベルに通用する品質基準をクリアする環境機器の不足。過去の出荷において細心の注意を払いつつも、気密性に乏しい環境だったため、虫や髪の毛を含む異物混入の恐れが生じていた。また繊維製品特有のホコリ等を一扫する環境問題のほか、検品ルーム内でプリント商材の色摩擦堅牢度検査や検針機の台数不足のため、一度場外に戻す必要があった。



成果

製造環境の改善と品質基準のアップ さらに作業効率の改善でスピードもアップ

品質・検品環境の向上と製造ラインの革新的な合理自動機械化を進めるため、最新鋭のクリーンルーム機器「エアシャワー機」と「気圧空調設備」を導入し、飛躍的に部屋全体の気密性が向上。検品ルームの入口で安易に異物混入を防ぐことができるため、品質環境レベルが向上した。また従来、検品後に別途検針と色落ち検査（堅牢度検査）を行っていたが、今回検品ルーム内で商品動線の流れに沿った位置に最新鋭の「検針機」と「色落ち検査機」を設置することで、作業効率の改善と検品ルーム内で完結できることで外からの異物混入等のリスクを軽減することができた。本事業を活用することで、長年構築してきた製造一貫体制の最後の砦である検品・出荷工程の環境が大きく改善。品質レベルで最も厳しいとされる食品・医療・精密機器業界への新規参入を果たし、また既存のお客様に対しても、今まで以上の安心・安全、短納期を提供することで、さらなる営業売り上げにつながった。



今後の展開

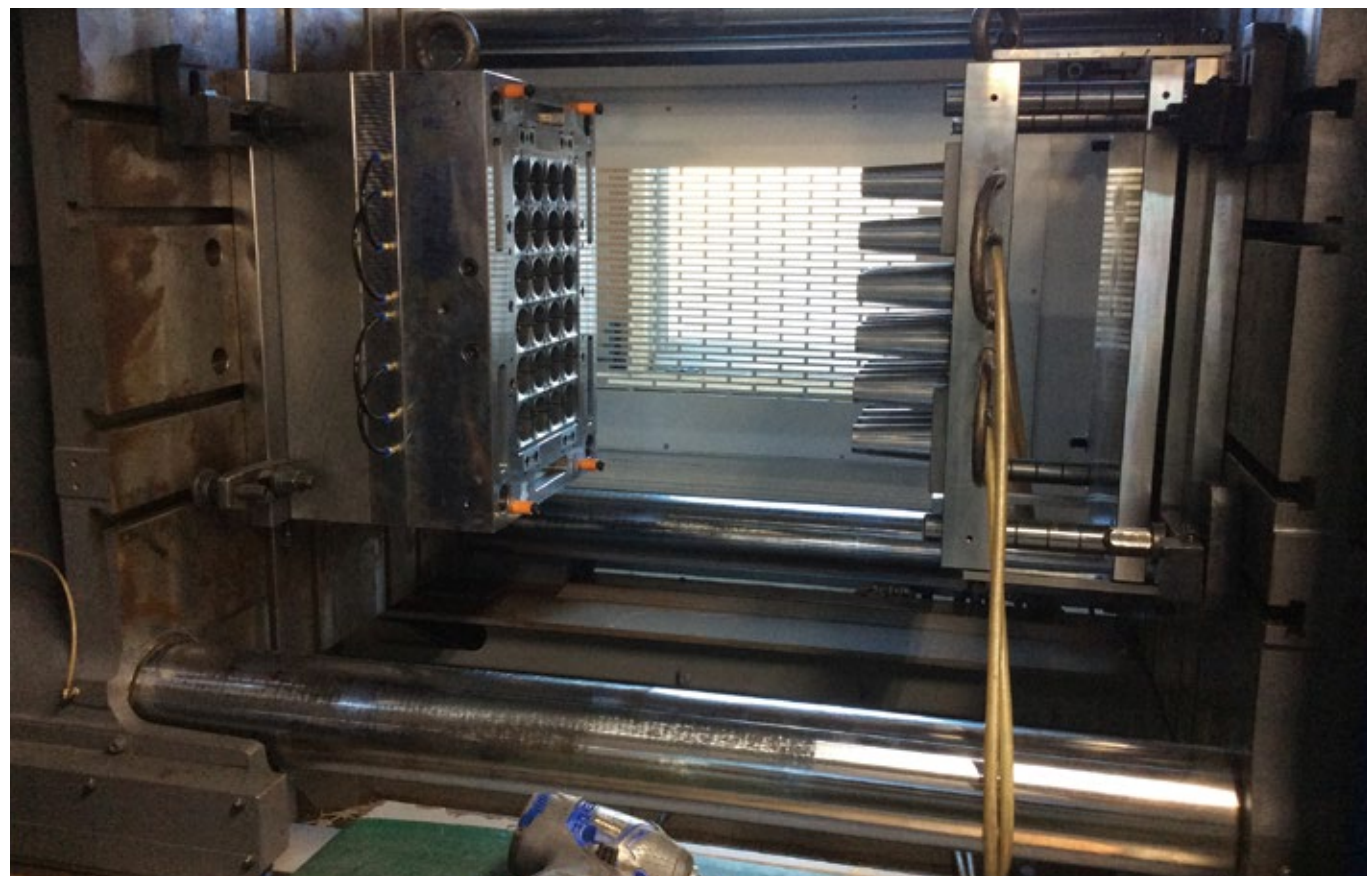
国内トップメーカーを目指し 技術者・営業人の育成にも注力

現在、サンプル数は2万点以上。小ロット・多品種・高品質に磨きをかけ、Made in Japanの品質をベースに、絶対的製造メーカーとしての優位性を確立することが可能になった。これらを基盤に、常に過去最高を上回るべく20億越えを着地点として精進。国内トップメーカーを目指しつつ、人手不足が深刻化する中で前向きに雇用を促進し、若手技術者・営業人の育成にも注力する。

会社概要

会社名	原田織物株式会社
代表者	代表取締役 原田 晋平
所在地	本社／和歌山県橋本市高野口町名古曾821
資本金	1,000万円
従業員数	160名(パート含む)
業種	繊維生活雑貨の企画・製造・販売
設立年月日	平成元年3月29日
TEL	0736-42-3509
FAX	0736-42-0400
E-MAIL	adomini@harada-orimono.co.jp
URL	https://harada-orimono.co.jp

株式会社阪中緑化資材



会社紹介

樹木や園芸用資材の製造や販売に携わって 70 余年
育苗トレーや有機培土などオリジナル商品も多数開発



緑化樹木移植用根巻資材、緑化工事用資材、各種園芸用資材、野菜・果物等の育苗資材の開発・製造・販売を手掛ける「阪中緑化資材」。昭和22年に「阪中種苗園」を立ち上げ、果樹・山林苗の生産流通をスタートさせた。31年には「阪中緑化樹生産センター」に改称し、緑化樹木の生産や大卸となる。60年に資材部を設置し、緑化樹木用資材の開発・輸入・加工・販売を開始。その後、有限会社を経て、平成2年に株式会社を設立した。

育苗トレー「空中ポットレストレー」や有機培土「ゆうきくん」など、同社ならではの実績に基づく知識とノウハウを反映させたオリジナル商品を多数生み出している。

代表取締役 阪中 晋

補助事業

主力商品を山林の育苗用に改良して新規販路を開拓

同社は多種多様な緑化・育苗資材を扱っていて、主な主力商品に麻網目ポットや育苗トレーがある。中でも「空中ポットレストレー」は画期的な育苗トレーとして業界内で認められ、国際特許を登録、また意匠登録も実施している。「空中ポットレストレー」は基本的に野菜や果物用に開発・製造していたが、顧客から「山林の苗に適したトレーはできないか」という要望を受け、山林用の育苗に特化したトレーを商品化することを考えた。販路は既存客の一部を活用、樹木を生産している全国の業者を新規顧客に想定し、さらなる販路の拡大を期待して、同事業を導入。トレーを試作開発するために「トレー本体200金型」(扶桑精機)を購入し研究、改良を重ねて「ポットレスコンテナ230」が完成した。



成果

同社独自の設計を取り入れて他社製品との差別化を図る

山林育苗に新たに開発したトレーは、ポット部の高さを13.5cmと深くして、支持根がより伸びるように製作されている。また、夏の異常気象による高温から苗を守るためにポット部全体にスリットを入れたり、自動培土入れ機や穴開け機に対応できるようにリップを設けたりと、同社独自の設計を取り入れた。さらに、トレーに直接培土を入れることで出荷植栽時に廃棄物が出ないなど、さまざまな点で他社のトレーとの差別化を図って、同社商品の優位性を強調した。

現在、東北、関東、中国、九州エリアの森林地で試験的に活用されている。今後も続けて山林苗や緑化樹木の生産者に同製品をアピールしていく予定だ。また、「空中ポットレストレー」がイチゴやトマトなどの育苗に最適であることから、「ポットレスコンテナ230」の山林苗生産以外の使い方も期待されている。



今後の展開

「ポットレスコンテナ 230」に付随した商品を積極的に販売

「根系がよい」「移植後の活着がいい」などの強みを生かし、里山の復元、山林の再造林、防風林、防潮堤などに植栽される樹木など、同製品を必要とする生産者にアピールしたいと考える。また、それに付随した他の商品の販売につなげたいとの期待もある。同事業を通して、必要な成果や比較データを公的機関から得て、次世代の植栽に向けての新たな展開が可能だとも思っている。

会社概要

会社名	株式会社阪中緑化資材
代表者	代表取締役 阪中 晋
所在地	和歌山県紀の川市桃山町市場269-1
資本金	2,500万円
従業員数	8名
業種	緑化・造園・育苗・農業資材の製造・販売
設立年月日	昭和62年
TEL	0736-66-2201
FAX	0736-66-2172
E-MAIL	srs@sakanaka.co.jp
URL	http://www.sakanaka.co.jp

平成 29 年度補正

ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金

概 要

事業の目的

足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者等 * が取り組む生産性向上に資する革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等の一部を支援します。(* 特定非営利活動法人を含む)

補助対象者

本補助金の補助対象者は、日本国内に本社及び実施場所を有する中小企業者および特定非営利活動法人に限る。※特定非営利活動法人は 2 次公募より対象
本事業における中小企業者とは、【ものづくり技術】で申請される方は「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第 2 条第 1 項【革新的サービス】で申請される方は「中小企業等経営強化法」第 2 条第 1 項に規定する者をいう。

補助対象事業

本事業では、【革新的サービス】、【ものづくり技術】の 2 つの対象類型がある。また、それぞれについて、「企業間データ活用型」「一般型」「小規模型（設備投資のみ、試作開発等）」の事業類型がある。補助率は、補助対象経費の 3 分の 2 以内となる。

事業類型		対象類型	革新的サービス	ものづくり技術
企業間データ活用型			・補助上限額：1、000 万円（※） ・補助率：2／3 以内 ・設備投資：必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 ※連携体は幹事企業を含めて 10 者まで。1 者あたり 200 万円が追加され、 連携体参加者を乗じて算出した額を上限に連携体内で配分可能。	※生産性向上に資する 専門家の活用がある 場合は、補助上限に 30 万円の増額が 可能
一般型			・補助上限額：1、000 万円 ・補助率：原則 1／2 以内 ※以下の場合は補助率は 2／3 以内 ・「先端設備等導入計画」の認定を取得した場合 ・平成 29 年 12 月 22 日以降に経営革新計画を新たに申請し承認を受けた場合 ・設備投資：必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 ・その他（2 次公募より追加）複数の中小企業者等が連携体として申請を行うことが可能 （補助上限額は共同申請全体で 1、000 万円）。	
小規模型	設備投資のみ		・補助上限額：500 万円 ・補助率：1／2 以内（小規模企業者・小規模事業者、常時使用する従業員が 20 人以下の 特定非営利活動法人の補助率：2／3 以内） ・設備投資：必要 ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費 ・その他（2 次公募より追加）複数の中小企業者等が連携体として申請を行うことが可能 （補助上限額は共同申請全体で 500 万円）。	
	試作開発等		・補助上限額：500 万円 ・補助率：1／2 以内（小規模企業者の補助率：2／3 以内） ・設備投資：可能（必須ではない） ・補助対象経費：機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費、 原材料費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費	

- ◎特定非営利活動法人が申請する場合は、上記に加えて、次に掲げる形態（1）・（2）の応じた要件を満たすこととします。
- （1）特定非営利活動法人単体で申請を行う場合
法人税法上の収益事業（法人税法施行令第 5 条に規定される 34 業種）を行う法人であり、かつ認定特定非営利活動法人でないこと。また、本事業に係る「経営力向上計画」の認定を受けていること。
- （2）特定非営利活動法人が中小企業者との連携体として申請を行う場合
①連携体の半数以上が中小企業者によって構成され、全体の補助金総額の 2／3 以上は中小企業者に充てること。
②特定非営利活動法人に対する補助金額が、連携体を構成する法人の中の最高額とはならないこと。

補助対象要件

- 【基本要件】
- (1) どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画を作り、その実効性を含め、中小企業・小規模事業者の事業をバックアップする認定支援機関により確認されていること。
- (2) 申請者が特定非営利活動法人単体である場合、法人税法上の収益事業（法人税施行令第 5 条に規定される 34 業種）を行う法人であり、かつ認定特定非営利活動法人ではないこと。また、本事業に係る「経営力向上計画」の認定を受けていることをこと。
- 【革新的サービス】
「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出・サービス提供プロセスの改善であり、3～5 年計画で、「付加価値額^{注 1}」年率 3％及び「経常利益^{注 2}」年率 1％の向上を達成できる計画であること。
- 【ものづくり技術】
「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した革新的な試作品開発・生産プロセスの改善を行い、3～5 年計画で「付加価値額^{注 1}」年率 3％及び「経常利益^{注 2}」年率 1％の向上を達成する計画であること。
- 注 1：付加価値額＝営業利益＋人件費＋減価償却費 注 2：経常利益＝営業利益－営業外費用（支払利息・新株発行費等）

平成 29 年度

採択事業成果事例

米阪パイル織物株式会社



会社紹介

縦糸にこころの横糸を織り込む YONESAKA MIND 高品位のパイル織物で新しいくつろぎのカタチを創出



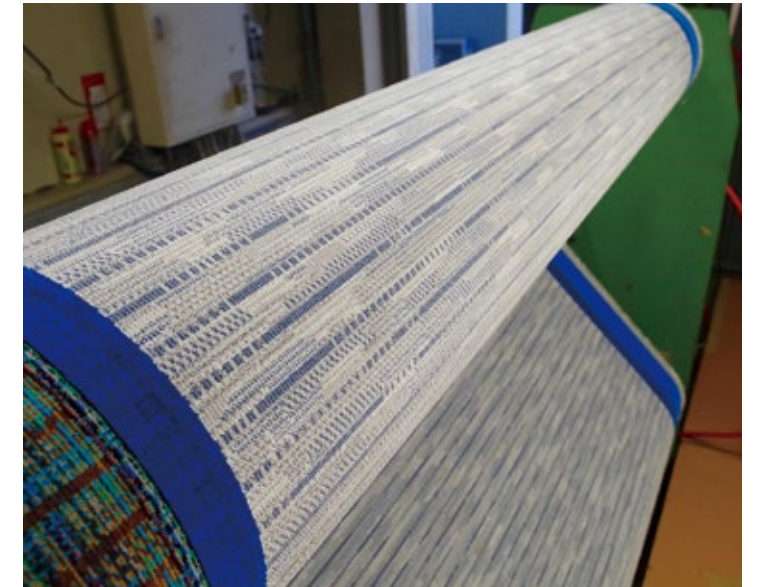
パイル織物とは、生地の子布に毛（パイル糸）が織り込まれている特殊な有毛布地のこと。同社は、世界で唯一のパイルファブリックの産地である高野口地域で、高品位のパイル織物を製造し、高級寝具や電車でシート（モケット）で高い評価を得ている。こだわりの、時を超えても変わらぬぬくもりをテーマに「人から人へこころのコミュニケーションを大切に考える」こと。YONESAKA MINDで、技術の縦糸にこころの横糸を織り込み、限りない新しいくつろぎのカタチを創出している。そんな中、高い技術が要求される電車でシートの製造において、マーケットシェア上位に位置する同社は、電車でシートの品位と生産性の向上に乗り出した。

代表取締役社長 米阪 佳久

補助事業

強度と厳しい基準+デザイン性 要求品位の高度化・多様化に対応

そもそも電車でシート地は、一度シートにすると5～8年は張り替えないため、座面の耐久に加えて、経年劣化しにくい強度が要求され、さらに鉄道法で定められた厳しい基準をクリアする必要がある。新幹線N700系のグリーン車シートに採用されるなど、製織技術に磨きをかけ、顧客先の納期・品質要求に応じてきたが、シート地の要求品位の高度化・多様化が進む中で、開発強化が求められた。そこで今回、デジタル式の電子ジャガードを導入することで、課題の解決に動き出す。命題となっていたのは、織柄を設定するアナログ式の紋紙。外注委託のため製作に数日を要してしまうことや、紋紙でのデザイン設定に限界があること、さらに保管スペースの問題などが課題としてあがっていた。



成果

電子ジャガードを用いたデジタル式で 繊細な柄表現に、品位と生産性もアップ

今回、パイル織機の織柄装置であるジャガード装置を旧来の「紋紙を用いた穿孔式柄制御」方式から、「電子ジャガードを用いたデジタル式柄制御」方式に移行した。そのために電子ジャガード装置を導入し、改善計画を実施。柄パターンをスキャナーなどで読み取り、デジタル化した柄パターンでパイル糸の動きを制御する電子ジャガードと、織機とジャガード部分をつなぐハーネスを購入した。成果として、柄の生成についてはデジタルデータを即時にアウトプット、柄の修正もデジタル化により容易に修正が可能になった。柄の再現性は、製織前に確認ができ確認作業が短縮。精度についても、柄の不具合による生地不良が解消。何より従来、柄変更の紋紙セットで2時間程かかっていた作業が、導入後は約10分と大幅削減。織機も紋紙破損対策が不要になり、10～15%の回転数アップ。柄制御をデジタル化したことで、段取り替えの短縮化、柄再現の多様化、新規開発の対応が円滑化した。



今後の展開

電車でシート地の新たな可能性 ものづくりの力で新商品を開発

移動手段であった電車が、インバウンド景気やイベント列車等の影響で観光化しつつある。それにより車内装飾の大きな役割を占める電車でシートに、多種多様な柄が要求されている。色柄がますます増えることが予想される中、今回の強化により他社との差別化を図りつつ、電車でシート地の新たな可能性を模索。クラウドファンディングを活用した商品開発にも積極的に乗り出している。

会社概要

会社名	米阪パイル織物株式会社
代表者	代表取締役社長 米阪 佳久
所在地	和歌山県橋本市神野々720
資本金	4,000万円
従業員数	30名
業種	パイル織物の製造・販売
設立年月日	昭和37年6月（創業／昭和10年5月）
TEL	0736-32-1404
FAX	0736-32-5046
E-MAIL	info@yyypile.com
URL	http://www.yyypile.com

福原ニードル株式会社



会社紹介

総合的に顧客をサポートする「FUKUHARA ブランド」
メリヤス編針など市場での優位性を固めて世界をリード



代表取締役 福原 裕司

昭和39年の設立以降、工業用メリヤス編針の製造業で国内トップを誇る老舗企業。製品の90%を輸出し、輸出先は欧米各国、中国、その他東南アジア諸国、中南米、アフリカ諸国など世界中に広がる。強みは特許を取得している革新的なE-Needle技術で、細い毛糸を細やかに編み込むファインゲージ分野に強い。またメリヤス編針製造装置・プレス金型・カッターなど、加工に必要な機械設備・治工具類の大半を自社製造。さらに福原産業貿易を中心に、丸編機を製造する福原精機製作所、同社の3社が連携することで、総合的に顧客をサポート。業界でも3社連携は類を見ず、FUKUHARAグループとして世界をリードし続ける。

補助事業

積極的な設備投資を行い 競合製品と差別化を実現

他社との差別化を図るため、革新的な製品開発や創造的なサービス、積極的な設備投資を実施。これまで焼戻装置の導入では、夜間無人運転が可能となり、人件費の削減と生産性が向上。高周波焼入装置は、メリヤス編針の強度を強化。さらにYAGレーザー溶接装置は、ファインゲージメリヤス編針の品質および耐久性を向上させ、付加価値の高いものに仕上がっている。今回は年々要求レベルの上がる、生産性を追求した高速化と高機能な編地の要望に応えるため、同事業を活用して最新型のワイヤ放電加工機を導入。プレス金型製作の高性能化と効率を考えたもので、特に需要が増えているファインゲージメリヤス編針の品質を向上させるため、耐摩耗性や強度に対応する金型づくりに注力した。



成果

最新型ワイヤ放電加工機を導入することで プレス金型製作の高性能化と効率化を実現

メリヤス編針は、鋼帯を金型でプレス加工するところから始まる。パンチ(オス型)とダイ(メス型)があり、パンチはダイよりも小さく、その差のことをクリアランスと言う。プレス金型の加工精度が良くないと、クリアランスが均一でなくなり、そのままではメリヤス編針として致命的な欠陥となるため、後工程で曲がりや歪を修正。さらにダイヤモンド研削仕上げ加工のために、プレス金型を2〜4分割して製作し、最後に組み上げる手間もあった。それらを解決する最新型のワイヤ放電加工機は、加工寸法精度で±0.002mmを保証。適正なクリアランスのプレス金型で、曲りや歪みの少ないメリヤス編針が製造でき、さらに高品位超硬材加工システムにより滑らかな加工面が得られるため、研削仕上げ加工が不要となった。結果、プレス金型の製作期間が20日間から6日間に短縮。ランニングコストも極めて低く、加工速度も従来より10%アップ。競合製品との大きな差別化に繋がっている。



今後の展開

高品質・長寿命をアピールし 新市場や新興国の顧客を獲得

同社のメリヤス編針は、従来にない固定概念を打ち破った革新的な形状で特許を取得しており、「吸汗速乾ウェア」や「薄くて暖かい保温性肌着」、さらにラグビージャージなどスポーツウェア全般の製造に必要不可欠なものとなっている。今後、既存の顧客はもちろん、取引のなかった市場や分野、新興国エリアにも、高品質・長寿命をアピールし、新規顧客を取り込みたいと考えている。

会社概要

会社名	福原ニードル株式会社
代表者	代表取締役 福原 裕司
所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町堅田2753-1
資本金	7,930万円
従業員数	256名
業種	工業用メリヤス編針の製造、編み機部品の製造ほか
設立年月日	昭和39年5月6日(創業昭和18年)
TEL	0739-45-0032
FAX	0739-45-1788
E-MAIL	soumu.needle@fukuhara.co.jp
URL	http://www.fukuhara-needle.co.jp

株式会社大和化学工業所



会社紹介

日用品雑貨の企画からデザイン、設計、製造、販売までワンストップで受注する成形メーカー



「大和化学工業所」はプラスチック加工法の一つ、「射出成形」を軸に、日用品雑貨の企画、デザイン、設計、製造、販売まで行う成形メーカーだ。昭和48年に創業し、63年に現在の海南市岡田に住所を移して有限会社を設立。平成20年には株式会社へ商号を変更した。創業以来培ったノウハウや技術を駆使し、顧客が望む製品をプロデュースする一方、ボトル洗い「Ohana」、レーザー加工機を用いた「キッチン水はね防止ボード」などさまざまな商品開発を行っている。また、「多数個1体型スキマブラシ」は、県内中小企業によるこだわりの技術だと認められ、平成28年度第2回目和歌山県「1社1元気技術」に登録された。

代表取締役 大谷 正樹

補助事業

「ボイドレス厚肉成形品」のより高精度な品質が目的

同社では創業からねじりブラシや植毛ブラシのプラスチックのグリップを成形している。成形の注意点として、グリップ内にボイド(気泡)があると、毛を束ねるステップルが浮き、植え込み強度が低下して、植毛した束が抜けることがある。同社が扱うブラシは、専門性の高い業務用のものが多く、毛束の脱落は絶対に許されない。また、同社の売り上げの30%を「ボイドレス厚肉成形品」(ボイドのないプラスチック成形品)が占めるため、より高精度に安定した成形を行うことを目的に、同補助事業を利用して、「高精度油圧コントロール射出成形機」の導入を決めた。同機は金型内部のガスを効率よく逃すことで、成形品内部のボイドの発生を抑制する効果があると分かっている。



成果

不良品削減、サイクル短縮の効果を発揮 1年間の成形工賃が約15%もカットに

同補助事業で導入した「高精度油圧コントロール射出成形機」(日精樹脂工業/FNX220 III-71A)には、「Nサブリ」と呼ばれる射出時のピーク圧を低減させる機能が備わり、前述のボイド発生抑制と、製品の反りの改善に効果が見られた。さらに、「Nクランピング」機能を使うことによって、ヒケ(へこみやくぼみ)も低減できた。

この2つの機能を活用することで、同社が保有するさまざまな金型に対して、サイクルの短縮、不良品の削減に効果を発揮。また、条件幅が広がることによる作業者の負担軽減、労働時間短縮にもつながった。その上、1年間に得られる成形工賃の約15%に当たる約120万円(人件費50万円、材料費70万円)を削減することが可能となり、大幅な利益増となった。また、消費電力が従来機より大幅にカットでき、電気料金の節約につながっていることも記しておきたい。



今後の展開

生産性の効率化を発揮し さらなる利益率の向上に期待

同補助事業で導入した装置は、売り上げを大きく伸ばす効果もあるが、それ以上に生産性の効率化を発揮し、利益率の向上に大きく貢献していけると期待を持っている。例えば、専門性の高い左官屋プロ向けのブラシは1万本以上の売り上げを記録しているが、ヒケ不良の問題があるため、Nサブリ機能を利用して、より高い品質に仕上げていきたい、と抱負を述べる。

会社概要

会社名	株式会社大和化学工業所
代表者	代表取締役 大谷 正樹
所在地	和歌山県海南市岡田305-5
資本金	1,000万円
従業員数	18名
業種	プラスチック製品の射出成形
設立年月日	昭和63年
TEL	073-482-9595
FAX	073-482-9911
E-MAIL	daiwakagaku@purple.plala.or.jp
URL	http://daiwakagaku.net

丸長食品加工株式会社



① 会社紹介

食・住・遊に関する事業を展開する丸長グループ
多種多様な水産物を取り扱い加工魚の美味しさを追求



「丸長水産」の加工部門として発足以来、一貫して加工魚の美味しさを求め続け、新しい味覚の創造に取り組んできた。食品の安全性が叫ばれる今、衛生面における管理と製品に対する品質保持を、社会から課せられた至上命令と受け止め、安心・安全を日々徹底。製造部門においては検査室を設けるとともに、冷蔵部門についても3000tの収容能力を持つ冷凍冷蔵庫に専任スタッフを配置し、品質管理に細心の注意を払う。また経験と技術を駆使して、顧客の多様化・複雑化するニーズにも対応。同事業により導入した「フィッシュインジェクター」でも、要望に応えつつ、品質の向上とさらなる美味しさ、可能性を追い求める。

代表取締役社長 柴田 文孝

② 補助事業

味わいと美しさが新規開拓の鍵
定塩フィーレ加工技術を導入

脂乗りだけでなく、程よい塩味が食味を左右する鮭類。加工現場において塩味の加え方は、塩水漬けが一般的で、塩水濃度や温度、浸漬時間などはメーカーごとのノウハウで行われ、同社では味にこだわり、切り身にしてから塩水漬けにする「切身定塩加工法」を平成3年に確立させた。現在では全国的に普及したものの、切り身になってから塩水に漬けるため、切り口の角が丸くなり、見た目を重視する量販店等での取り扱いが難しいという課題があった。また漬け込みによるうま味成分の流出にも注視。それらを解決する新技術として、フィーレ(半身の状態)のまま均一に塩水を加える「定塩フィーレ加工技術の導入」を目標として、フィッシュインジェクターを導入した。



③ 成果

塩分のムラを抑えてふっくら感がアップ
原料コストを削減しつつ商品価値も向上

現在、加工魚の主流となりつつあるのが、定塩フィーレ加工技術である。半身状態のフィーレに対して、複数の注射針で塩水を注入する「インジェクション」により、部位による厚みや身質の違いに関係なく、均一に塩味を加えることができる技法だ。食材に針跡がつきにくく、なにより塩水漬けに比べて、塩分のムラが抑えられるのが特徴。塩水漬けの際に流出していたドリップと呼ばれるうま味や脂分が、インジェクションによる定塩フィーレでは、ほとんど出ることがなく、食材の食感をふっくらと仕上げることができる。同事業によりフィッシュインジェクターを導入したことで結果的に、食感および食味が向上。美味しさの決め手となるうま味を損なうことなく処理できたことで、商品価値をさらに高めることができた。またコストの部分においては材料費として、従来の食塩漬けに比べて食塩の使用量等が大幅に削減できたため、コストの削減にも繋がった。



④ 今後の展開

高い機能をフル活用して
次なるヒット商品の誕生を目指す

導入した同機は、定塩フィーレ加工に加え、味付けフィーレ加工への展開を有しており、商品開発の足がかりとなることが期待される。秋鮭をはじめ真タラやサバ、サンマに対して、昆布エキスや味噌調味液などインジェクションを試みている。食味において合うもの合わないもの、濃い薄いなど試行錯誤を繰り返しながら調整しつつ、ヒット商品の誕生を目指す。

会社概要

会社名	丸長食品加工株式会社
代表者	代表取締役社長 柴田 文孝
所在地	和歌山県田辺市新庄町2391-7
資本金	1,000万円
従業員数	50名(パート含む)
業種	水産物の加工処理・パック詰め等
設立年月日	昭和61年4月
TEL	0739-26-5353
FAX	0739-26-5476
E-MAIL	yamamoto@marucho.co.jp
URL	http://www.marucho.co.jp/shokuhin

株式会社アイガット



会社紹介

世界でも唯一無二の“生きた”風合いの生地を追求
オリジナリティーに富んだ新生地で提案力アップ



「肌心地のよい高品質なテキスタイルとその衣料品の提供」を目的に、生地の企画・製造・販売を行う東紀繊維のファミリー企業。平成26年に自社工場として設立された。100年以上の歴史を持つ稀少な吊り編機を保有し、製造するのは肌馴染みのよい“生きた”風合いの生地。世界でも唯一無二のものとして、高級メゾンをはじめとする国内外のブランドから高く評価・支持されている。ポリシーは「自然との共生」。緑いっぱいの工場の隣では畑でコットンを栽培し、ジートープづくりにも挑戦。糸からこだわる高品質なものづくりのほか、丁寧かつ熟練した職人技の維持・継承、地球環境に配慮した活動等、真摯に取り組んでいる。

代表取締役 **安宅 英宣**

補助事業

企業の社会的責任を可視化しつつ CSR強化を図り“魅せる工場”へ

昨今のファッション業界では、オリジナリティーに富んだ新しい生地や提案以外に、特に欧州の有名ブランドメーカーからは、企業の社会的責任を通して世の中に貢献するCSRへの対応が求められた。その観点から、製造過程を確認する工場への見学要請も増えていた。今回、事業の拡大に伴い新工場を建設するにあたり、それらの要望に応える新生地の提案力アップとさらなるCSR強化を図り、“魅せる工場”から“魅せる工場”に進化させることを計画。具体的には、顧客から要望されるジャガード裏毛生地を実現するため「ジャガード裏毛編機」を導入。また給糸ラインをチューブ化するサイドクリルを採用することで環境面と品質面の向上、並びに生産性と歩留まりのアップが実現した。



成果

表の表情（意匠性）と柄の変化（多様性） 業界をリードする新生地に世界が注目

同社のジャガード裏毛生地は業界初の「吊り編み方式」で生産。しかしそれゆえの高価格帯で、顧客からリーズナブルな価格の「ジャガード裏毛生地」を熱望された。今回のジャガード裏毛編機の導入により、こちらも業界初となる「表糸を2口給糸」にする機構を開発。フラットな表情ではなく、表の表情（意匠性）と柄の変化（多様性）ができるようになり、新しいジャガード裏毛編み生地の開発に成功した。さらに編み機メーカーと協力し、従来のニット業界にはなかった3色使いのジャガード裏毛生地の生産性を確立。顧客一人ひとりのオリジナルに応えるとともに、強化された生産性と品質の向上、新商品の開発力を武器に、新規獲得のため国際生地見本市にも出展。販路拡大を図っている。また和歌山初のサイドクリル（横給糸）の導入で、綿埃の発生を80%も削減。作業環境の向上だけでなく、編み生地への悪影響もなくなり品質面が改善したほか、10%の歩留まりアップを実現した。



今後の展開

CSRをオリジナルでブランド化 「5R Five Rules」で世界進出

市場にない風合い、意匠、色彩、デザインに優れたジャガード裏毛編み生地を、東紀繊維を通して既存（フランドル、アルマーニ他）と新規（バーバリー、ルイ・ヴィトン他）に提案・販売。従来のオリジナル技術（独自開発の糸等）を組み合わせることで相乗効果を狙い、さらに同社のCSRを「5R Five Rules」としてブランド化することで、顧客との信頼関係の構築・強化に結び付ける。

会社概要

会社名	株式会社アイガット
代表者	代表取締役 安宅 英宣
所在地	和歌山県岩出市安上647
資本金	1,000万円
従業員数	17名
業種	テキスタイル卸（カットソー生地）並びにその衣料品の取り扱い
設立年月日	平成26年
TEL	0736-68-9008
FAX	0736-68-9009
E-MAIL	info@aigat.co.jp
URL	http://www.toki-seni.co.jp

株式会社 ODEC



① 会社紹介

金属加工から光ファイバー関連、さらにはトレーディングまで
柔軟な発想力と想像力で、あらゆるものをカタチに満足を届ける



平成15年に設立し、金属部品を中心とした加工をメインに行っている。柔軟な発想力と想像力で、あらゆるものをカタチにし、お客様に満足いただける製品を提供。金属加工ではNC旋盤やマシニングセンター（5軸加工）、ワイヤーカット等あらゆる金属加工に対応し、1個からの試作も迅速かつ丁寧に対応。光ファイバー関連製品は、高い技術力と豊富な製造ノウハウで、お客様の期待値を超える商品を提供。シール製造では、航空機や自動車、建機などさまざまな分野で使用されるゴムシールパッキンのプレス・製造、販売まで行っている。さらに常識にとらわれない発想力で、WEBマーケティングやトレーディング事業も手掛ける。

社長室長兼
WEBシステム開発 竹越 淳

② 補助事業

金属 3D プリンターで
金属加工の不可能を可能に

複合CNC装置の購入では、それまで自社ではできなかった5軸の連続一貫加工ができるようになり、平面研削盤の導入では、プレス成型機用の金型の内製化と金属・ゴム一体化製品の開発・製造にこぎつけた。積極的な設備投資と人材育成の結果、金属加工と仕上げ、品質管理および組み立てにおいて、対応できないものはほぼなくなったが、中空構造の金属部品の一体製造や、既存の加工法では製作不可能な複雑形状を実現できることもあり、現在世界的に注目を集める金属3Dプリンターの導入を検討。国内では200台程度で、中小企業で導入している会社は少なく、いち早く操作・活用法を習熟することで、同社全体の付加価値を飛躍的にアップさせるとともに、国際競争においても有利になると考えた。



③ 成果

ニーズに応えるビジネス展開も視野に
金属ノウハウの優位性を生かし顧客獲得

今回導入した機種は、3Dシステムズ社製のProXDMP200。目的は、中空構造のある金属製品を継ぎ目なしで製造すること。さらにお客様のニーズに応えるビジネス展開も視野に入れていた。要望の1つ目は、研究開発中の精密機器の製品（部品も含む）の試作。2つ目は、金型の紛失または廃棄した部品の再製作。3つ目が多品種小ロット生産。これらの要望に応えつつ、最も大きい差別化が、既存の3Dプリントの受託企業では難しい、造形物の「機械加工」工程までを自社内で一貫して実施し、顧客に対してコストや納期、品質の面でメリットを与えられること。同社は光ファイバー応用製品や光学部品など、精密な加工精度が求められる製品の金属加工のノウハウおよび加工設備を有しているため、金属3Dプリンターによる造形物を一貫して製造することができ、これにより、既存の3Dプリント受託企業に対しても大きな優位性を持つため、新規開拓の早急な顧客獲得に繋がった。



④ 今後の展開

新しいものづくりの考え方で
宇宙関連等、世界市場へ参入

金属3Dプリンターの市場は始まったばかり。さまざまな金属加工のノウハウを持つ同社であれば、製品により性能が同じで、金属3Dプリンターで造るより数種の部品で組み立てた方が、コストが安くなるといった提案も可能。造形の依頼だけでなく、設計から企画まで、柔軟な発想力と想像力を武器に、自動車や航空機、宇宙関連といった規模も裾野も広い世界の市場に参入を試みる。

会社概要

会社名	株式会社ODEC
代表者	代表取締役 中 昌紀
所在地	和歌山県有田市野416-2
資本金	2,000万円
従業員数	40名
業種	金属粉末造形(金属3Dプリンター)設計・造形受託・販売ほか
設立年月日	平成15年7月31日
TEL	0737-82-2562
FAX	0737-82-2564
E-MAIL	odec@proof.ocn.ne.jp
URL	http://www.odec-wakayama.com

平成25年度採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	株式会社スミロン	幼児保育園、ユニット型老人施設・等で発生する使用済み紙おむつ処理機の開発	
2	ニッティト株式会社	新基幹システム導入による生産管理プロセス強化・業務改善事業	
3	ヨシダエルシス株式会社	ハイブリッドベンダー導入による「ワンストップ型ソリューション」の強化	P6
4	小西化学工業株式会社	機能性スルホン化ポリマーの用途展開	
5	中野 BC 株式会社	生体親和性向上のための材料複合技術を用いた梅エキス粒状製品の開発	
6	太洋工業株式会社	3次元CAD導入による設計の効率化及びコストダウン	
7	株式会社山東鐵工所	ガラス繊維用ガス毛焼機の高火力化開発	
8	大洋鑄造株式会社	高性能混練機導入による鑄物砂の品質管理と生成職場の無人化	
9	株式会社ホタニ	製造工程IT化のための初期投資事業	
10	ブラックウッドジャパンコーポレーション	「ドッグフード選別・袋詰設備」導入による”付加価値”及び”販売量”の向上	
11	南海スチール株式会社	鉄筋製造システム自動供給装置付複合設備の導入	
12	寺本紙器株式会社	小ロット、低価格かつ美粧なパッケージの提供と紙製家具製造への進出	P8
13	株式会社アイスティサイエンス	代謝物解析による全体把握のための代謝物用自動前処理装置の開発	
14	株式会社河北食品	安心・安全な弁当及び給食の供給力増強による地域社会へ貢献	
15	柏木鉄工株式会社	製鉄所連続鑄造設備鑄型大型化対応設備（クレーン）導入	
16	有限会社坂部ブラシ	ブラシ毛の植毛に最適なブラシ台の製造を図る事業	
17	アドバン工業株式会社	「ナノ加工の世界で見せる日本のものづくりの底力」	
18	株式会社小川製作所	『ITによる多品種少量・少品種大量生産を可能にするオールラウンド型経営の実現化計画』	
19	株式会社北浦	「匠の技とNC加工機のマッチングによる、伝統の継承と更なる進化」	
20	有限会社丸之内マシーナリ	円筒内面の3次元面取り寸法測定装置の開発による定番商品化事業	
21	正和産業株式会社	PTFE樹脂製シール部品加工用NC旋盤導入による樹脂部門の売上拡大計画	
22	株式会社ユー・イー・エス	ナノ粒子ヤシガラ活性炭の研究及び試作開発	
23	斎藤ドラム罐工業株式会社	最新型ヘリウムリークテスター導入によるドラム缶完成品の最終検査高精度化計画	
24	米阪パイル織物株式会社	パイル織物技術を活用した 通年型寝具生地の意匠開発	
25	株式会社興栄ケミカル工業所	マット裁断加工技術の高効率化・高精度化による販路拡大及び事業の拡大	
26	大和歯車製作株式会社	高効率冷凍機用の端面ポリゴン研削加工による付加価値向上事業	
27	株式会社フタバ	自動へム縫製機等によるタオル縫製加工の作業集約計画	
28	福原ニードル株式会社	高周波焼入装置の増設による高付加価値製品への転換促進	
29	株式会社赤井工作所	油圧式サーボ・下降式プレスプレーキによる特注品の短納期・多品種・小ロット化への実現	
30	日吉染業株式会社	捺染糊に含まれる揮発性有機化合物の再利用と着色排水の低減	
31	新田建築板金店	メッキ鋼板加工の高精度化を目指した折り曲げ機導入	
32	株式会社小林商事	高度化する鉄鉄鑄物業への安心安全な材料の提供を目的とした各種分析装置の導入	
33	有限会社協同カッター工業	「ウォーターリサイクル工法」設備の増設による環境問題への対応と受注の拡大	
34	尾崎産業株式会社	製造プロセスの再構築と開発力促進・販路拡大と雇用拡大の実現	
35	雑賀製作所	搬送用ステンレスタンク生産の内製化による低コスト化・短納期化事業	
36	モリックス精工株式会社	精密切削加工における生産性向上計画	
37	株式会社泉鉄工所	鉄構用ショットブラストマシン導入による、鉄骨摩擦処理面の高品質化事業	P10
38	株式会社丸昌	新基幹システム構築によるグローバル拠点の生産性効率化と営業力強化事業	
39	株式会社蒲田	取引先要望対応と弊社技術のフル活用を可能にする倉庫から第二工場への転用	
40	株式会社世界一統	國酒清酒ブランド「南方」を世界へ向けた蔵設備計画	
41	株式会社寿精密	リチウムイオン電池部品の新形状に対応する生産プロセス強化	
42	株式会社三見精密	新仕上げシステム導入における金型部品の生産能力の改善と、さらなる精度向上	
43	日建産業株式会社	鋼管外面ショットブラストマシン導入	P12
44	株式会社平木米穀店	小ロット対応可能な無洗米仕上による精米付加価値向上事業	P14
45	阪和工業株式会社	塩化亜鉛結晶化設備の増設および海外拡売計画	
46	有限会社横田工作所	ショットブラスト装置の導入による生産性と品質の向上及び作業環境の改善	
47	有限会社ビー・オー・テック	CAD・CAMを用いた、足部製作の3次元足型自動測定・切削機器の導入	
48	東洋機械加工株式会社	硬度試験片粗切削加工の自動化による短納期化およびコスト合理化	
49	株式会社尾高工作所	YAGレーザ溶接機導入による高品質化、低コスト化、高生産性化事業	
50	株式会社坂口製作所	生産性に優れたアルミ抵抗溶接プロセスの開発	
51	株式会社土井シャーリング	レーザー加工精度向上による鋼板の高精度化・量産化・低コスト化	
52	ヒカリ技研株式会社	金属部品加工径の大口径化を図り外注加工の内製化を実現する設備投資計画	
53	川口建設株式会社	間伐材を活用した燃料チップ等の生産設備改善による品質・生産性の向上	
54	有限会社紀陽製作所	復興関連事業に特殊車輛関連部品及び東京オリンピック関連のインフラ整備関連部品受注増加による生産性向上と海外調達に対抗するコスト競争力の強化	
55	株式会社イワハシ	精密プラスチック部品加工技術向上と設備導入	
56	株式会社オプラス	配車管理システム導入による輸配送業務の効率化	
57	株式会社興和製作所	CNCドリルマシン導入による生産工程の改善と短納期化	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
58	白光印刷株式会社	ユニバーサルデザインで新市場を開拓する「人にやさしい本」の試作開発	
59	ル・パティシエ ミキ	わかやま土産（地域生産物を活用した焼き菓子）の製造販売と開発	
60	出口歯車工業株式会社	「銅製かご枠」溶接作業のロボット化による生産工程の改善	
61	原田織物株式会社	生産プロセスの改善により革新的な生産効率の向上と良品質商材の追求計画	
62	株式会社大輝製作所	曲げ工程改善による多品種少量対応と生産量・受注量拡大事業	
63	有限会社ハヤシ精機	測定計測装置の高能力化による新規受注拡大事業	
64	株式会社三宅鐵工建設	H形鋼一次加工の内製化による品質・生産性の向上事業	
65	株式会社笠原	ICTを活用した、時と場所を選ばない「移動出張所システム」の構築	
66	桜井鉄工株式会社	ネジ切り加工用マシニングセンタ導入による市場競争力強化	
67	天王醸造株式会社	醤油の古式製造法復元による原料処理からの一括生産	
68	紀和化学工業株式会社	インクジェットインクに使用する染料の生産性向上	
69	北村鉄工株式会社	最新型鉄骨用溶接ロボット導入による生産力向上	
70	平和酒造株式会社	ビール醸造製造技術に応用した発泡性ゆず酒の製造技術開発	
71	妙中パイル織物株式会社	超音波ドライクリナーによる高精細液晶パネル用ラビングクロスの製造ラインの改良	
72	株式会社フジ設計	BIM活用で建築設計の可視化を行い品質向上と顧客満足度を構築	
73	笠野興産株式会社	医薬品包装ケースのGS1ー128コード・印字・封緘を画像処理機にて検査・排出する装置導入	
74	西川食品株式会社	冷凍食品（冷凍米飯・オムライス）の生産、安全、品質向上にかかる設備導入計画	
75	株式会社菖蒲谷	省スペース型コア・仕口兼用溶接ロボット導入及び溶接ロボット設置に伴う受電設備増設計画	
76	株式会社インテリックス	オーダーカーテン品質向上、短納期生産のための新型縫製装置導入計画	
77	株式会社平山	紀州産 間伐材等を、Made In Japan Only Oneの工業製品に仕上げ、海外販売の拡大を計る	
78	大谷産業株式会社	機械導入による家具部材加工の生産能力・安全対策強化事業	
79	株式会社フォーラル	衣装カバー（ティッシュ式収納袋入り）の製造工程自動化による生産性向上	
80	株式会社貴重工業	世界初の新型植針機の開発と量産を実現させるマシニングセンタの導入	
81	株式会社木下染工場	コスト競争力強化の為に高効率ボイラー導入事業	
82	高木彫刻株式会社	精密コーティング用ロール製造のための精密加工技術の確立	
83	菱岡工業株式会社	板金加工の高速・高機能・工程短縮・高精度化及び新分野拡大事業	
84	高垣酒造株式会社	低温管理技術による高付加価値商品の開発	
85	株式会社平家製作所	C-FRPシャフトの精密加工技術の確立	
86	株式会社小久保工業所	プラスチック成型での文具等収納関係の商品のシリーズ化のための金型事業	
87	扶桑鍍金株式会社	微細な表面変位の詳細把握によるメッキ処理工程の効率化と品質管理の向上	
88	株式会社ふみこ農園	摘果した和歌山県産『桃（青桃）』のコンポートを作るための前処理方法	
89	株式会社マルセ工機	最新型マシニングセンターによる繊維機械用部品精密加工の競争力強化事業	
90	株式会社大和化学工業所	既存技術と最新技術の最強コラボレーション	
91	株式会社サンメイト	真空スチームセット機導入による、園児用プリーツスカートの品質向上と生産効率改善の実現	
92	アイエムティー株式会社	試料研磨事業における装置類の軽量化及びオリジナル消耗材の開発	
93	株式会社Y's エンジニア	チャック部品製作過程における、マイクロクラック削減事業	
94	株式会社原組	ソーラエネルギーを付設した植物工場の環境システムの構築	
95	株式会社シガ木工	製作コスト削減と材料廃棄率低減による桐製家具の開発	
96	株式会社トルネ	3Dプリンタ導入によるプラスチック製品開発スピード向上と高付加価値化計画	
97	サンキョー化成株式会社	ハイブリッド式射出成形機導入による木質樹脂製品の生産量増加、低コスト化計画	
98	大洋化学株式会社	自社分析の導入による再生プラスチックの高品質化・短納期化事業	
99	有限会社スリー・エフ・シー・デンタルラボ	歯科用CAD/CAMシステムを用いた保険歯科技工物全般の高度化と効率化	
100	株式会社朝間商会	ハイブリッド工法を可能にする「スリット・ボーリング加工機」の設備投資	
101	株式会社ヤエバック	品質の一定化・効率化のためのブラストマシン及び集塵機導入計画	
102	ナロック株式会社	大型高速ストランダーの開発	
103	株式会社西岡酒店	在庫・販売プロセス強化と顧客サービス向上の為に業務改革事業	
104	中井産業株式会社	建具業界における受注下請型から企画提案型への業態変革のための設備投資	
105	株式会社アセロラフーズ	新型セル生産機を導入による品質と生産性の向上、新しい販路の開拓	
106	株式会社和歌山印刷所	伝票製造における制作、校正など川上工程のシステム化による製造工程の最適化	
107	サカイキャニング株式会社	液体原料の高品質受入システム開発・導入による新形態での飲料受託開拓	
108	株式会社Citrus	食品乾燥機を用いた無添加ドライフルーツ・ドライベジタブルの製造	
109	株式会社日本化学工業所	紙用液体直接性染料の生産効率改善のための工場集約化、および増産体制の確立	
110	井手印刷株式会社	次世代印刷物となるIT技術と連携した「動画と連動するAR印刷」の創造計画	P16
111	ナギサビール株式会社	酸化を防ぐ自動瓶詰ライン導入による品質向上	
112	築野食品工業株式会社	新型高効率冷凍機更新による節電推進（CO2削減～地球温暖化防止）	
113	三木理研工業株式会社	キャニスター用潜熱蓄熱マイクロカプセルの性能向上計画	
114	中田食品株式会社	和歌山県産果汁を使用したスパークリング梅酒の開発と製造ラインの構築	
115	成和技研株式会社	最新鋭加工設備導入による生産性及び品質向上計画	
116	セイカ株式会社	新規高機能性樹脂を指向した高純度芳香族ジアミンの開発	
117	株式会社河鶴	新製法国産たくあんの投入・開発による、新商品の市場化・惣菜へのチャレンジ	
118	株式会社アグリンク和歌山	業界初！紀州南高梅を使用した種抜き梅の自動新規製造ライン構築	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
119	金剛ダイス工業株式会社	砥粒流動加工を用いた小径異形穴冷間鍛造金型の高精度化	
120	株式会社粉河	作業効率改善による増産体制構築に向けた設備投資計画	
121	藏野製材株式会社	輸出用梱包材の製造工程改善に係る設備投資による生産能力拡大計画	
122	株式会社熊野酸素	プレスブレーキ機械の導入による顧客要望への対応と新規受注の獲得	
123	花野食品	摘果（廃棄）青みかんを活用したリキュールの量産化とオイルの抽出	P18
124	国土建設株式会社	自社廃棄物を高品質木質ブリケットに再生することによる循環型社会への貢献	
125	有限会社アート工業	広告看板製作に3次元CADシステムを導入し、短納期化・複雑形状への対応を図る	
126	西岡総合印刷株式会社	1冊から当日注文出荷が可能なオンデマンド印刷、出版サービスの開発	
127	株式会社日本ハイパイル	大手通販会社向け長毛カーベットの新規開発及び生産販売。	
128	株式会社メイワ	冷凍空調機用圧力容器溶接ロボットシステム装置導入による生産合理化計画	
129	アクロナイン株式会社	電動サーボダイカストマシン導入による、ダイカスト部品の品質向上計画	
130	株式会社保田鉄工所	C F R P成形金型関連設備導入による、航空・宇宙産業分野事業拡大計画	
131	南海鐵工株式会社	酸洗処理（磨棒鋼業界の製造工程）に代る研磨装置の開発	
132	有限会社みなべの梅農産組合	梅酢を原料にした脱塩梅酢果汁、梅塩の生産ラインの拡大	
133	田辺港輸入木材協同組合	県内特産果実の加工時に出る廃棄物の発酵堆肥化リサイクルの効率化事業	
134	株式会社マキカンパニー	【MADE IN JAPAN】生産力・価格競争力への挑戦	P20
135	有限会社島本化繊起毛工場	起毛時にマイクロスコープを駆使した軽く柔らかな保温性のある高品質な寝具の開発	
136	テラモト株式会社	競争力を付与された、新規ぬいぐるみの製造法の開発	
137	株式会社共栄テクシード	部品生産の効率化及び作業環境改善の為の5軸制御縦型マシニングセンター導入計画	
138	五二化学工業株式会社	新規冷却プロセスの導入による生産効率の向上	
139	新中村化学工業株式会社	シアロ糖鎖類緑体の効率的な製造方法の開発計画	
140	竹島鉄工建設株式会社	計画的生産性向上の為に自社独自開発の溶接ロボットを導入	
141	株式会社ヨシムラファーム	乾燥及び貯蔵設備の導入によるにんにくの周年出荷事業	
142	有限会社富光モータース	高度診断機活用による整備箇所の迅速な対応と整備内容のデータ化による顧客満足度向上事業	
143	株式会社菱丸商会	コア連結溶接ロボット導入による、生産力向上及び作業環境の改善	
144	松屋電工株式会社	木工CNCマシニングセンタ導入による新製品開発と既存製品の生産性向上。	
145	宮本齒研	最新設備の導入による補綴物等の製作時間の短縮と精度の向上	
146	有限会社NAO企画	3Dレーザースキャナを活用した効率的で高精度な測量計測技術への展開事業	
147	萱野織物株式会社	新型ハーネス機導入による織効率・製品品質の向上	
148	カドヤ株式会社	受注生産方式シート貼木製建具枠後加工工程強化事業	
149	株式会社平岡鉄工所	ショットブラスト装置の導入効果（品質向上・生産性向上）による県外受注の拡大計画	
150	株式会社テクニカルセンター和歌山	歯科用CAD/CAM装置を用いた保険歯科補綴物の製作、及び歯科技工所連携の構築。	
151	株式会社ツネダ	市場の多様化に対応する生産体制強化事業	
152	株式会社中原製作所	高機能新設備導入による競争力向上	
153	野口工機株式会社	高温の環境下に於いて硬度の低下しない耐摩耗性に優れたためっき浴の開発	
154	中家青果	果物形選別装置、処理能力高速化、高精度化事業	

平成 26 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	和歌山染工株式会社	市場ニーズにあったデザインの短期間での開発・販売	
2	おざぎのひもの	小型魚体高速選別機による高鮮度干物での新規商品開発と販路開拓	
3	匠技研株式会社	世界一の高速・高精度ハムスライス機械の開発	
4	有限会社田辺食品工業所	食品製造現場への最新機器導入による製造環境の改善と生産強化	
5	日吉染業株式会社	ロータリースクリーン捺染におけるスクリーンの製版設備に関するシステムの構築	
6	株式会社坂口製作所	高精度なベンダーの活用による板金加工品の海外競争力強化	
7	株式会社ウイング	ロータリーダイカットシステム導入による競争力強化／新ビジネスモデル強化	
8	株式会社シガ木工	画像提案と立体加工を取り入れた桐材の極限活用による新製品の開発	
9	ワコー株式会社	ホットプレス機導入による商品力強化及び高付加価値新製品開発事業	
10	株式会社第一製版印刷	レーザー加工で美しく繊細な意匠をあしらった印刷物の制作及びネットによる販売の展開	
11	株式会社テクモ	自動車向け特殊形状ねじ金型の高精度加工技術の確立	
12	株式会社一条	AR（拡張現実）技術を搭載した結婚招待状のWEBオーダーサービスの確立と全国展開	
13	株式会社吉村秀雄商店	清酒製造における洗米、蒸米、放冷新設備導入による技術の高度化、品質向上と省力化	
14	小西化学工業株式会社	炭素繊維複合材料向け低粘度エポキシ樹脂の開発	
15	株式会社インテリックス	高付加価値設備導入によるオーダーカーテン新規顧客層への展開	
16	株式会社早和果樹園	有田みかん加工品、高品質化による海外販路開拓プロジェクト	
17	株式会社土井シャーリング	高性能ドリルマシン導入によるスブライスプレートの量産化事業	
18	南海合繊株式会社	海外市場を見据えた新しいウェットスーツ素材の編成技術の導入	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
19	株式会社ホロン精工	ニット編み機用ゴムローラ部品外觀検査のＩＴ化による品質向上・低コスト化計画	
20	大和歯車製作株式会社	次世代航空機向け補助動力装置（ＡＰＵ）用部品の加工技術開発事業	
21	和興建産株式会社	特許ハニカムを活用した高強度、高断熱、軽量な断熱パネルの安定的量産設備の事業化	
22	熊野の里株式会社	梅に新たな加工を施し新しい商品に蘇させる事業。『漬け物からスイーツへ』	
23	株式会社井上	業界初の品質管理体制の構築による化粧品用品の受注増加計画	
24	株式会社データ技研	高精度、迅速な3D測量設計技術の活用による災害対策への貢献	
25	株式会社世界一統	和歌山県産果実使用のプレミアム（自然派）リキュール商品開発	
26	平和酒造株式会社	高品質な吟醸酒向けに原料処理設備導入による製造環境整備	
27	有限会社ハヤシ・シザース	多種多様品のニーズに対応するためのNC研削機導入による内製化	P24
28	株式会社ヒラニット	自動裁断機とCADシステムを活用した婦人服の生産性向上とデザイン提案の強化	
29	萩原メリヤス株式会社	オリジナリティに優れたニット生地の開発、設備導入と顧客満足度向上	
30	中田食品株式会社	コンビニエンス向け新規梅干商品開発と製造ラインの構築	
31	ウインナック株式会社	リニアモーター駆動方式を採用した放電加工機の追加導入による加工精度向上と生産能力増強計画	
32	ヒカリ技研株式会社	五面マシニングセンター導入での製造工程の改善による生産プロセス革新事業	
33	株式会社マージネット	ワン・ストップ対応強化によるタイムリーなDM発送体制の確立	
34	株式会社アイスティサイエンス	特定の目的物質の吸着・抽出機能を有した固相抽出剤の試作品の開発	
35	株式会社友進	和歌山発 プロ輩出『24時間営業 本格的レコーディングスタジオ』の提供	
36	ユタカ工作株式会社	迅速安全な取替えを実現する「ベルトコンベアーのベルト巻取車」の導入	
37	株式会社山利	老舗しらす屋、オーダーメイド設計の『新型自動釜』導入による事業展開	P26
38	富士香料化工株式会社	製品開発力の強化と迅速化計画	
39	有限会社服部鍍金塗装	最新設備を取り入れた自動車鍍金技術サービスと自動車塗装システム	
40	株式会社Southwind	プレス金型／樹脂金型の更なる高速加工・高精度加工の確立	
41	アイエススプリングラー株式会社	作動弁型流水検知装置の試作開発	
42	株式会社新宮看板広告	NCルーターとインクジェットプリンタ導入による顧客ニーズへの対応	
43	有限会社隆文社印刷所	AR技術を活用した看板の製作による新たな広告媒体の提案	
44	株式会社豊工業所	多機能ドリルマシンによる品質向上と連続加工による短納期化	
45	稗田化学工業株式会社	新素材（球状シリカ複合エポキシ樹脂）注射材の開発と販促プロジェクト	
46	株式会社小松原	ロールベンダー及びベンディングマシンを用いた高品質・低コストの生産システムの確立	
47	尾高ゴム工業株式会社	高耐久・高摩擦のセラミックとウレタンのハイブリッド材料開発	
48	4Dセンサー株式会社	1ピッチ位相解析法による高速高精度三次元形状・変形計測装置の開発	
49	出口歯車工業株式会社	鋼管圧延用工具の加工プロセス改善による生産性の向上	
50	株式会社農業総合研究所	「農家の直売所」事業でＩＴを活用した効率的な出荷配送システムの確立	
51	株式会社スミロン	剥離促進層を持つ新規な熱剥離型粘着テープの開発	
52	協同組合ラテスト	備長炭、竹炭を原料とした医薬品向け黒色顔料インク用分散体の開発	
53	大谷塗装工場株式会社	新型乾燥機導入による作業効率改善と塗装品質向上及び環境負荷軽減	
54	株式会社西川製作所	P S A式窒素ガス発生装置の導入による生産プロセス革新計画	
55	株式会社いなみの里梅園	小袋専用包装機の導入による、製品の高付加価値化と競争力の強化	
56	株式会社坂本製作所	大型機（数値制御フライス盤）の導入による内製化計画	
57	株式会社河島本家	大根打ち抜き機・外皮（未利用資源）乾燥システムの導入	
58	株式会社丸昌	病院・施設向け寝具、患者着における市場ニーズ商品開発の迅速化	
59	株式会社オーエ	販売管理システム導入による短納期対応と顧客満足度の向上	
60	扶桑精機株式会社	試作成形の精度向上による自動車向けプラスチック金型の高品質化事業	
61	有限会社柑香園	和歌山県産フルーツを100％使用した、こだわりある加工品の生産能力向上と更なる品質向上計画	
62	株式会社吉松工機	動バランス測定の内製化による高付加価値化の実現	
63	株式会社イブファーム	安定したイノブタ生産のための飼料製造改善事業	
64	株式会社明和製作所	汚水流入防止機能付空気弁の量産体制の確立	
65	カナプレスト株式会社	NC制御マシニングセンタ導入による作業の合理化と売上増大計画	
66	阪和電子工業株式会社	新規生産ライン構築による静電気可視化モニタの市場ニーズ対応強化	
67	株式会社雑賀製作所	3D作業用クランピングテーブルシステムによる溶接品質・生産性の向上	P28
68	中家青果	柑橘類の光センサーを用いた、糖度、内部障害果識別による商品価値化向上計画	
69	有限会社井戸量店	量業界最高水準の寸法精度と短納期化により、競争力の強化と利益増大を図る	
70	有限会社ホンダ自販那賀	接客強化→車検点検整備の業務効率化システム構築によるお客様満足度向上計画	
71	株式会社島羽運送	商品別に温度管理できる大型冷凍庫にて、農産物を直接消費者に届けるシステム	
72	株式会社ヴァイオス	メタン発酵技術による漢方薬残渣・廃食品添加物の処理サービスの提供	
73	湯浅醤油有限会社	インバウンド観光誘致のための蔵見学予約システム開発と免税処理システム導入	
74	アイエムティー株式会社	顕微鏡観察用試料の作成に係る精密研磨条件の開発	
75	株式会社新栄組	緊急時対応可能な総合物流コントロールクラウド型システムの導入	
76	有限会社セ・ラ・セゾン	串本町の廃校を拠点として、特産果実を使った洋菓子の開発と串本のブランド化	
77	桜井鉄工株式会社	小型NC旋盤導入による市場競争力及び作業安全対策の強化	
78	株式会社VSフィット	過熱水蒸気処理果樹の加工設備導入による食品素材及び製品の開発	
79	紀州技研工業株式会社	UV硬化装置、並びにUV硬化インク開発	
80	株式会社平家製作所	C－FRPシャフトのセンターレス精密研磨加工技術の確立と生産拡大	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
81	田村産業株式会社	トップラベル付棒ネットの低価格化を実現するための生産プロセス革新事業	
82	株式会社寿精密	高度構造解析技術を活用した電池・電子部品の試作プロセスの革新	
83	株式会社メイワ	混合ガス（H _e +N ₂ ）供給・回収装置及び充・回収ユニット導入による生産コスト削減 目標数値（ガス購入量削減）・・・現状比 80％削減	
84	株式会社紀州ほそ川	種抜き機を利用した種抜き梅生産の効率化と紀州うめどり加工品等を使った新規商品の開発	
85	株式会社タニガキ建工	鉄筋挿入工の施工を効率化し、作業員の安全性向上を図る施工機械の開発	
86	新栄陸運株式会社	クラウドシステム導入による国際複合一貫輸送	
87	白光印刷株式会社	「サイドオープン型製本」工程の確立によるオンリーワン市場の開拓	
88	吉田染工株式会社	S R Y横編み機を使ったオリジナル生地の開発及び販売	
89	株式会社小川製作所	最新「CNCレーザパンチプレス」導入による半導体市場への参入拡大	
90	高木彫刻株式会社	柄の繰り返しの無いエンボスロール製造のための高付加価値設備（大型スキャナー）の導入	
91	大谷産業株式会社	側板加工工程の高度化によるデザイン家具の実現	P30
92	株式会社紀州本庄うめよし	新型充填機導入で新商品開発し発売、既存商品の袋詰め製品の充実で販路拡大	
93	O r a l	歯科技工業界におけるアナログ技工からデジタル技工への改革、及び歯科技工所連携の構築	
94	樹谷精工株式会社	プレスブレーキの設備更新による生産性UP及び省エネ化	
95	井手印刷株式会社	平面から立体へ！『新世代4次元印刷』への展開	
96	エクセルプリント	高温スチームバキュームプレス機導入によるプリント技術の向上	
97	有限会社社の国食品	紀州梅を使用した新商品《梅くらげ》の機械設備導入による量産化	
98	有限会社吉村製作所	生産力向上及び環境改善を実現する省スペース型鉄骨自動溶接システム導入	
99	原田織物株式会社	高付加価値特殊縫製機導入による製造工程の革新的強化と海外市場攻略計画	
100	株式会社たにぐち	デザインを重視したチョコレート製品の開発及び生産性向上	P32
101	新宮木造住宅協同組合	伝統工法とプレカットを融合した新しい木造住宅の提供事業	
102	有限会社慶集社	感染予防対策上の死後処置サービス「美粧衛生」の展開	
103	株式会社西沢インダストリー	ダイレクトブロー成形機導入による市場ニーズへの対応と新市場開拓	
104	株式会社中尾酸素	自動非水槽式耐圧試験機の導入によるガス容器検査事業の収益拡大	
105	モリックス精工株式会社	多面加工における品質・生産能力向上及び生産工程効率化計画	
106	有限会社下津フードサービス	低蛋白パンの製造供給による腎臓病患者のクオリティオブライフの向上	
107	株式会社O D E C	複合CNC装置による先端機器部品の多品種少量一貫生産体制の確立	
108	金剛ダイス工業株式会社	ワイヤー放電加工を使った小径異形穴金型の高精度化と生産性向上	P34
109	株式会社中峰農園	梅干の概念を覆す！甘くてとろける食感のプレミアムスイーツ梅の開発	
110	大鐵工業株式会社	新型溶接ロボット導入で既存品のステンレス化、及び新製品の開発	
111	有限会社西出水産	灰干しさんま製造の工程改善による品質安定	
112	笠野興産株式会社	包装工程におけるラベルへの印字及び検査、貼付の自動化	
113	有限会社社畑野化成研究所	有機E L基幹材料（ボロン酸、ナフチルアントラセン）製造実現のための生産体制の確立	
114	株式会社アイガット	日本初“吊り編み機によるジャガード裏毛編み生地”の生産技術の確立	
115	カネマサ莫大小（メリヤス）株式会社	世界初の編機開発導入によるオリジナル新素材と新しい市場の創造	
116	株式会社キンタロー	塗装技術の向上及び、周辺環境への配慮した「高齢者家具」の開発	
117	まち会社DREAM HASHIMOTO 株式会社	フリーズドライおよび真空包装技術を活用した海外市場開拓を目的とした「フリカケぼん酢」の開発	
118	タイミングブリー・ジャパン有限会社	一貫生産体制によるタイミングブリーの高精度安定生産の実現	
119	中野B C株式会社	ゼロエミッション達成に向けた梅由来複合新素材の開発	
120	大和ブロック株式会社	景観を保全・創出する護岸ブロックの量産化計画	
121	株式会社大畑鉄工所	N Cドリルマシン導入による生産性、品質向上及び作業環境改善	
122	有限会社大陽食品	規格外品柿（未利用資源柿）の利活用	
123	株式会社前田豊作堂	新塗装ブースの導入による位牌の製造効率の向上と製造本数の拡大事業	
124	貴志川工業株式会社	デザインシステム・S R Y型編み機導入による、短納期対応、コストダウン、販路拡大計画	
125	株式会社石橋	横型攪拌乾燥装置によるバイオコークス原料多様化技術の開発	
126	有限会社麺彩工房ふる里	紀北産フルーツ等を使用した「大福」の製造により地域活性化を図る計画	
127	株式会社宮本商店	最新型N C旋盤導入をし、他社に負けない低コスト化・納期短縮の実現	
128	株式会社レシアン	クラウドを活用したシステム開発による新しい注文サービスの提供事業	
129	株式会社近代技研	C I Mの実用化に向けた高度な建設生産システム構築の取組への参画	
130	株式会社コムテック	サービス付高齢者住宅内の居住者向け新しい個別販売サービスの実現事業	
131	株式会社コスモ化工	ロングバйл人工芝用タフト機導入による顧客ニーズへの対応と競争力強化	
132	有限会社ニシデ	生産加工の効率化、高精度化の為のレーザーカットマシン及びルーターマシンの導入計画	
133	南海スチール株式会社	安定電流を求めたマルチスロット溶接機改良計画	
134	酒本物流有限会社	新型尿素水製造装置導入によるトラック排ガス浄化装置の閉塞防止とコスト削減	
135	株式会社ワカヤマヤモリ舎	遊休不動産を活用！国内外から旅行客を呼び込む、和歌山市初の「まちづくり交流宿」	
136	株式会社フレック	情報化技術導入による完全防水製品の自社ブランド構築	
137	コーワプラス株式会社	市場ニーズに、機動的に対応できる鮎の加工品提供体制の確立	
138	有限会社Kテック	多面加工実現による樹脂部品の高精度化及び生産性の向上	
139	有限会社家具のあづま	伝統工芸士が造る、家と家具のオーダーハウス	
140	メイク広告株式会社	視認性・耐久性に優れた看板の製作とコストダウン・工期短縮の取組	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	京和グリーン株式会社	産業用ロボットを利用した野菜苗の自動移植装置の開発	
2	大洋化学株式会社	R－P E T樹脂製品の拡販を目的とした加飾設備投資	
3	株式会社かつら木材商店	高度な帯鋸目立て加工技術の内製化による生産ロスの低減と生産性の向上	
4	有限会社丸之内マシーナリ	3 D C A D導入による生産プロセスの高機能化と高収益化事業	
5	橋電装工業株式会社	最新ベンダー導入による生産プロセス改革とI ｏ Tによる工場間連携体制の構築	
6	株式会社嶋出水産	「しらす」の、最新モデル選別機による安全と品質と生産効率向上の実現	
7	株式会社ホロン精工	高機能測定装置導入によるゴムシール部品の寸法測定高信頼化・低コスト化	
8	株式会社坂口製作所	薄板溶接加工と異材溶接技術確立による板金溶接加工品の競争力強化	
9	株式会社ウメカ食品	地元食材（梅・果実）を利用した小ロット多品種の新商品製造・販売	
10	株式会社久保製作所	“防災用ソックス一体型「全身スーツ及び防水ズボン」陸用”の開発プロジェクト	
11	丸和ニット株式会社	両面ジャカード編機導入による企画力と技術力の強化	
12	株式会社早和果樹園	社内物流のボトルネック解消を目的とした製造出荷連携ラインの構築	
13	花野食品	農産物（青果物）の加工及びその残渣を有効活用	
14	株式会社アイセン	「落ちますボンジ」の内製化による品質の安定化および生産能力の向上	
15	株式会社アイガット	新しい起毛ニット生地を生産体制の構築	
16	株式会社西川製作所	溶接工程の自動化による内視鏡洗浄装置部品のさらなる短納期化と高品質化の実現	
17	大亜鋼業株式会社	最新型レーザ加工機導入による品質向上・生産工程の効率化と新規顧客の獲得	
18	中野B C株式会社	「日本庭園のある酒蔵」観光インパウンド事業（多言語対応）	
19	有限会社ハヤシ精機	マシニングセンタ導入による生産性向上事業	
20	セイカ株式会社	新規高機能性樹脂のための金属フリー芳香族ジアミンの環境調和型製造法の開発	
21	株式会社イワハシ	地場産業向け超肉厚成形品の品質向上・コスト削減計画	
22	オカ株式会社	革新的切断法によるマット生産設備増設事業	
23	桜井鉄工株式会社	最新CNC旋盤による異形継手及び非鉄製品の新分野展開	
24	アドバン工業株式会社	業務用エアコンの海外展開を加速させるための冷媒フロート弁の高精度加工	
25	株式会社テクモ	航空機等に使用される高精度チタン製ねじの製造を可能にするフォーマー加工金型の製造	
26	株式会社三晃精密	同時5軸加工システム導入による複雑形状品製造の高速高精度化と収益力強化	
27	有限会社イシイ	小型で5軸のマシニングセンター導入による生産プロセスの改善	
28	旭精機株式会社	精度を維持し現状比2倍の大型金型を製作する生産体制の確立	
29	有限会社ティ・ティ・エム	高野口伝統技術と先端技術の融合により、M a d e i n高野口を世界に普及させる	
30	有限会社ハヤシ・シザース	海外市場開拓を目指したメンテナンスフリー超耐久性理美容鉄の開発	
31	関西化工株式会社	次世代自動車市場向けコンデンサ用封口ゴムの安定生産方式の開発	
32	三木理研工業株式会社	低ホルマリンメトキシメラニン樹脂の開発・製造	
33	株式会社興和製作所	橋梁耐震補修事業への本格進出にあたっての生産体制確立と品質向上	
34	株式会社メイワ	「S U S容器T I G溶接ロボットシステム」導入による生産能力及び付加価値の向上	
35	株式会社不動農園	梅甘納豆など「種なし梅」シリーズの商品化	
36	竹島鉄工建設株式会社	ビルドボックスの市場ニーズへの迅速な対応とタイムリーな供給体制の構築に向けたエレクトロスラグポータブル溶接機の導入	
37	株式会社小松原	レーザー加工機を用いた高品質・低コストの生産システムの確立	
38	松屋電工株式会社	次世代塗装下地処理設備導入による塗膜性能アップと環境にやさしい工場の実現	
39	有限会社田辺食品工業所	当社主力商品に対する高度な衛生管理技術の開発事業	
40	株式会社アイスティサイエンス	メタボローム分析を加速させるコンサルティング及び受託サービスへの取り組み	
41	小川工業株式会社	厚板の精密抜き加工における測定の効率化、工数削減による量産体制確立とモノづくり基盤技術の高度化	
42	カネマサ莫大小（メリヤス）株式会社	世界初の3 6ゲージを備えた縦糸挿入コンピュータジャガード丸編機の開発導入	
43	大岩自動車株式会社	最新高機能塗装ブース導入による、自動車钣金塗装業の市場開拓	
44	株式会社たにぐち	チョコレート製品の表面加工処理における品質向上と生産工程の効率化	
45	ブラム食品株式会社	主に製英原料としての保存性を有する梅加工 品の製造	P38
46	ニッティド株式会社	省力化による生産性向上と内製化を追求し商品供給の安定化を実現	
47	和歌山染工株式会社	生産性・品質・コストでの優位性を向上させる デジタル捺染システムの構築	
48	株式会社正木製作所	コンプレッサーの新製品化対応のための生産体制構築と低コスト化の実現	
49	株式会社紀和自動車	最新塗装ブース導入による環境改善、納期短縮、品質向上に伴う顧客満足度の向上	
50	株式会社P D I	デジタルデバイスを使用するI ｏ T型スマートランチャーの性能向上と生産性の改善	
51	友ヶ島汽船株式会社	友ヶ島を訪れる観光客の満足度向上による人気の恒久化を図る	
52	株式会社八旗農園	桃の風味を最大限に引き出したピューレの低温殺菌処理加工技術の開発	
53	株式会社七色畑ファーム	I C T導入により生産性向上と高品質生産を実現するスマート農業	
54	株式会社紀州美食	乾燥工程の内製化による多品種小ロットクー	
55	柏木鉄工株式会社	高付加価値品加工の半自動化を実現させるCNC	
56	株式会社峯	開先加工機の導入による、飛躍的な加工精度と生産性の向上	
57	株式会社ヴァイオス	バイオガス発電と蓄電池を連携させたスマートリサイクル事業の展開	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
58	尾高ゴム工業株式会社	仕上げ加工工程の生産性向上、納期短縮と研磨技術の技術蓄積	
59	株式会社 Q u e e n	最小人員での受注管理を実現する外部連携受注システムの開発	
60	公園前中山歯科	全身の健康サポートまでを担う「健康長寿促進歯科医院」の展開	
61	株式会社鳥羽運送	和歌山県産みかん・柿輸送において高速パレットローラーシステムの導入による大幅な時間短縮輸送	
62	株式会社ドリーム産業	業界初の猫専用の美容器具の試作開発	
63	大伸化学工業株式会社	熱可塑性エポキシ樹脂含浸カーボン繊維の成型による形状付与に関する試作開発	
64	株式会社保田鉄工所	自動車産業分野への販路拡大による C F R P 金型売上増大計画	
65	株式会社雑賀製作所	アングルベンダーの導入によるステンレスタンクの海外競争力強化	
66	東洋機械加工株式会社	3 D デジタル技術と最新 C I C 連携による自動加工の実現と情報技術人材の育成計画	
67	アイレス電子工業株式会社	設備稼働・異常データ収集システム（試作）	
68	妙中パイル織物株式会社	新型タイピングマシーンの導入による内部コストの削減と新分野での商品開発	
69	マルヤマ食品株式会社	成型機導入による生産能力の向上と製造コストの削減	
70	小畑産業株式会社	貿易・稟議・文書管理を有する高機能営業支援システムで顧客満足度の向上	
71	株式会社ナカエ	ネットショップサイト賞味期限更新・管理システム	
72	株式会社尾高工作所	テーブルスポット溶接機導入による高品質化、高生産性向上化事業	
73	株式会社世紀工業	ボーリングロッド着脱の機械化施工	
74	株式会社中口板金工作所	新規ニーズ・顧客への多品種・小ロット製品の製作コストダウンを目指して！	
75	有限会社ブバアー商会	最新検査システムを使用した太陽電池モジュールの革新的保守サービスの提供	
76	株式会社貴望工業	最新鋭の工作機導入による高精度・多品種少量生産への事業多角化	
77	合名会社丸正酢醸造元	伝統技法と現代技術の融合による醸造酢の生産性向上と輸出促進事業	
78	有限会社阪和熱工	最新モデルの硬度計を駆使して精度の高い計測を行う	
79	有限会社一陽建設	情報化施工機器の導入と若年層人材を確保育成できる新体制の構築	
80	有限会社紀陽工作所	長尺 N C 旋盤加工機導入による受注増大事業	
81	株式会社インテリックス	縫製プロセス見直しによる生産効率・歩留及び品質向上計画	
82	株式会社 O D E C	プレス成型機用精密金型の内製化と金属・ゴム一体化製品の開発	

平成 28 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	有限会社社京和機工	3 次元 C A D を導入して高性能なドラム缶搬送設備の開発計画	
2	株式会社土井シャーリング	海底構築物事業への参入のための加工システムの構築と加工設備の導入	
3	小西化学工業株式会社	受発注管理システム導入による福井工場－本社間接部門 の業務一体化	
4	株式会社世紀工業	I C T 技術を活用した 3 次元測量による建設工事測量の効率化のための測量サービス提供	
5	株式会社則種海産	色彩選別機導入によるしらす選別・異物除去 プロセスの高度化事業	
6	有限会社マルヨシ	X 線異物検出装置の導入による安心・安全な食品提供 体制の確立	
7	株式会社ヤマヨテクスタイル	ハイゲージ丸編機導入による生地 の安定供給とニット市場の拡大	
8	株式会社オージャス	日本国内には存在しない電動開閉式露天風呂が全室に付く温泉旅館	P42
9	株式会社西川製作所	内視鏡洗浄機部品の製造における曲げ工程の高精度化とサイクルタイムの短縮	
10	太陽食品株式会社	I o T を用いた各種製造プロセス情報の統合的管理による能動型 O E M 製品（菓子）の高効率大量生産体制の確立	
11	有限会社深見梅店	有機南高梅の商品到着日時指定サービスに係る長期貯蔵技術開発	
12	福原ニードル株式会社	Y A G レーザー溶接加工を付加した高品質 ファインゲージメリヤス編針の生産体制強化	
13	株式会社旭洋冷蔵	最新型選別機の導入による地元産規格外果実の学校 給食への供給促進	
14	キセイ株式会社	高周波溶着機導入によるテントシート製品のイベント・展示会向けの事業拡大	
15	株式会社たにぐち	「具材の食感と視覚」を楽しめる固形物入り高級チョコレー ト 製品の生産体制の確立	
16	株式会社マージネット	「見える化」でリアルタイム情報を共有する革新的サービスの構築	P44
17	株式会社インテリックス	オーダーカーテン販売における革新的サービスの導入による販売力強化事業	P46
18	ヤマサ工業株式会社	自動充填包装機の導入による「ほしものびより」の 低コスト化及び生産性向上	
19	島研摩機材株式会社	レアアース磁石製造工程で発生する屑品リサイクル計画	
20	有限会社レストランフライヤ	創業 8 4 年の伝統をもとに最新設備導入による中食事業の高度化	
21	株式会社興和製作所	大型鉄骨溶接の自動化による 熟練工の高付加価値部門への集中配置	
22	株式会社河北食品	革新的なアレルギー対策ライン設置による安心と安全な学校給食の提供	
23	株式会社第一製版印刷	A I ネットワーク参入による機械故障の予防保全と生産性向上	
24	ニッティド株式会社	アンドンと自動化による生産管理強化と品質管理の強化	
25	中野 B C 株式会社	脂溶性成分（油分）を含有する丸剤の開発	
26	金剛グイス工業株式会社	小径異形穴金型の非接触測定技術の構築と新事業展開	
27	大阪精機工作株式会社	高速ワイヤ放電加工機導入による 1 μ m 単位 の 高精度加工技術の確立	
28	株式会社小谷製缶工業	生産ライン増強による住宅・ビル向けアルミ建材の増産・高精度化	P48
29	株式会社伊藤農園	有田みかん加工品の販売拡大に伴うキャッパー機及び搾汁機設備導入	P50

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
30	株式会社サンテック	最新のワイヤー放電加工機の導入による、生産工程の 革新的改革	
31	紀陽除虫菊株式会社	大容量除湿剤の溶着加工・容量検査の高精度化 および増産体制の確立	
32	日吉染業株式会社	カーテン業界のニーズに対応した多色柄広幅ポリエステル生地 の生産技術の確立	
33	株式会社和歌山トムソン	新型グルアーを導入し商品価値を高める形状の紙器をデザインする取組	
34	株式会社丸昌	業務用寝装品検査システム導入による品質及び 顧客サービス向上計画	
35	林田株式会社	一体編成によるニット製品の高品質化と短納期化およびオーダー事業の展開	
36	扶桑精機株式会社	小径精度穴の加工プロセス改善による プリンタ精密部品の生産力強化	
37	アドバン工業株式会社	自動車の新機軸安全装置に使用される精密部品の製造開発	
38	株式会社坂本製作所	平面研削盤の導入による製品の高精度化及び品質の安定的供給	
39	株式会社大和化学工業所	世界初！ハイブリッドトイレブラシの開発からの自動インサート生産体制の確立	
40	久保田工業株式会社	最新型 C N C 旋盤導入による競争力強化に伴う経営力強化	
41	株式会社赤井工作所	C N C ファイバーレーザ加工機導入による I o T を活用した 生産管理及び生産性の向上計画	
42	菓匠錦花堂	菓子製造工程で自動包装機を新規導入することによる 生産性向上、及び看板商品の拡販	
43	株式会社テクモ	冷間圧造による自動車向け複雑形状部品の製造を可能にする高精度な金型の製造開発	
44	株式会社浅野商会	大型焼付塗装窯導入による納期短縮と顧客ニーズへの対応	
45	原田織物株式会社	新分野進出の為、革新的な生産プロセスの改善 と品質基準の高度化計画	P52
46	デュプロ精工株式会社	小型製紙装置の低価格・コンパクト化に向けた部品内製化事業	
47	アクロナイネン株式会社	ダイカスト鑄造ピストンの生産設備導入と国内生産の増強	
48	株式会社貴望工業	中国向け高精度組立自動化ライン開発の体制強化	
49	西原精工株式会社	大型マシニングセンタ導入による内製化及び生産性の向上	
50	橋電装工業株式会社	新規サッシ事業の推進に向けた長尺加工用ベンダーの導入と I o T の強化	
51	株式会社進藤建設	3 D 設計ソフトと I T を利活用した工程管理による 総合建築サービス	
52	東洋機械加工株式会社	I o T、A I 技術を用いた生産プロセスの見える化と労働生産性向上計画	
53	株式会社阪中緑化資材	独自性の高い独創的な山林苗の育苗トレーの開発・市場投入による新規顧客の開拓	P54
54	アイエムティー株式会社	試料用作成装置における部品の内製化に伴う加工技術の最適化 及び高度化	
55	有限会社中筋オートボデー	生産性・審美性・品質向上を実現する高性能シャー リング機導入によるオリジナルボデーの作成	
56	株式会社小川製作所	レーザー溶接・切断機導入による生産性及び精度の向上と人材育成の推進	
57	有限会社シーケーテクノ	自動車産業向け部品の製造工程を見直し、高精度・短納期を実現させる計画	
58	株式会社神戸屋	ソーセージの合理化設備導入と H A C C P 認証検査設備で 品質向上	
59	有限会社樽の味	発酵技術を駆使した原材料内製化による無添加甘酒の製造プロセスの変革	
60	榎谷精工株式会社	混合ガス（H e + N 2）充填・回収装置導入による 生産コスト削減及び検査品質向上	
61	株式会社岡田織物	自動裁断機導入による合理化及び企画提案型企業への変革	

平成 29 年度 採択事業者一覧

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
1	株式会社イワハシ	世界初のワイングラス専用の多機能収納庫の開発事業	
2	株式会社丸徳水産	海水温に左右されない養殖魚管理の実現にむけて ～陸上での管理設備の導入～	
3	株式会社ホットフィールド	安価で高品質な業界初ニット織ダッシュボードマット生産計画	
4	有限会社ハヤシ・シザース	世界初のメンテナンスフリー鉄の製造体制の構築と国内外市場の拡販	
5	株式会社ファーストライン	3 温度帯対応物流センターの新設と効率運用による革新的物流サービスの提供	
6	尾高ゴム工業株式会社	高機能産業車両用タイヤ製品（高硬度ウレタン）群の市場展開	
7	株式会社川口工業所	高炉用消耗部品等の内製化によるリードタイム短縮と不良率低減計画	
8	アドバン工業株式会社	電気自動車に使用される減速モジュール部品の製造開発計画	
9	株式会社テクモ	自動車の更なる軽量化を実現するためのアルミニウム合金用フォーマー金型の製造開発	
10	高田機工株式会社	建築用鉄骨の高精度化と納期短縮を実現するための「孔あけ」工程の改善	
11	株式会社宮本商店	低燃費・環境問題に寄与する自動車用高付加価値部品の生産性向上計画	
12	サクセム株式会社	1 0 年に及ぶ研究期間を経て開発した非常用保存食「ライフブレッド」の飛躍的な生産性の向上	
13	有限会社紀の川ステンレス	酸洗い槽の溶液を加温するヒーター（ボイラー）を新規導入することによる生産性の向上	
14	米阪パイル織物株式会社	デジタルジャガード設備導入による電車シート用高級パイル織物の品位向上及び生産性向上計画	P58
15	株式会社西川製作所	3 次元レーザ加工による農機・建機フレーム等の高精度化・短納期化の実現	
16	大洋化学株式会社	学校給食用エコ食器の普及・促進を目的とした設備投資	
17	株式会社早和果樹園	みかんの新価値を創造する、陳皮製品の生産開発	
18	株式会社三晃精密	金属加工品の三次元測定検査における I C T 活用による高速化と生産性向上	
19	株式会社和歌山印刷所	新規設備導入を機に全社的な生産性向上を目指して働き方改革を断行する。	
20	白光印刷株式会社	自動検知と多能工化で少量多品目が進む印刷市場に適応し増収増益	
21	株式会社リハートテック	誤嚥性肺炎予防のための嚥下の筋肉訓練具の量産化	
22	株式会社進藤建設	インフラ再整備に向けたコンクリート構造物の革新的再生工法の確立	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
23	原山工業株式会社	新規事業として焼付け塗装処理を新工場で立ち上げ、一層の売り上げ・利益増を狙う。	
24	株式会社インテリックス	既存生産プロセスへの生産性向上の為に I O T 活用	
25	トップマン工業株式会社	無縫製によって組み立てるサポーター及びコルセットの開発	
26	竹上木材株式会社	収穫期を迎えた林分に於ける高効率生産システムの構築	
27	株式会社辻本組	線路崩落事故防止のための砕石杭工法による革新的地盤改良サービス	
28	福原ニードル株式会社	最新型ワイヤ放電加工機の導入によるプレス金型製作の高性能化及び効率化	P60
29	株式会社 O D E C P R E C I S I O N	独自改良型プレス成型機の効率導入により生産性向上と不良品率 0 % を目指す	
30	和歌山三菱ふそう自動車販売株式会社	最新型ホストコンピュータと車検ラインシステム導入による即日車検サービスの提供事業	
31	橘電装工業株式会社	塗装ロボット導入による粉体塗装工程の生産性と品質の向上	
32	有限会社ジコー	検査工程の効率化による短納期の実現および当社独自の生産体制の強化	
33	株式会社大覚総本舗	業務用小容量ごま豆腐の溶着精度の高度化と増産体制の確立	
34	株式会社ふみこ農園	ギフト商品及び景品商品等の生産性向上と働き方改革の改善をはかる	
35	有限会社浜寿	地域資源を活用した新商品開発と最新オープンの導入による競争力強化と生産性の向上	
36	株式会社ヤマヨテクスタイル	丸編ニット生地の子衣料部門への進出	
37	株式会社 S o u t h w i n d	ファインブラッキング用金型加工新規事業の確立	
38	イケゾエ F R P プロダクツ株式会社	溶接方式の H D P E （高密度ポリエチレン）タンク事業の展開で業績向上を図る事業	
39	水落工業株式会社	マシニングセンタの新規導入による金型の内製化によるコストダウン	
40	中野 B C 株式会社	梅酒うめを用いた梅干し風味ペースト製造ラインの導入	
41	和歌山ワイナリー合資会社	和歌山初のワイナリーに最新設備を導入し、高生産性と高品質化を実現する	
42	株式会社中口板金工作所	素材カットのコストダウン追求と新素材への挑戦！	
43	セイカ株式会社	航空宇宙材料用 新規・非対称芳香族ジアミンの環境調和型製造方法の開発	
44	成和技研株式会社	H V 自動車等のトルクコンバータ部品需要増に対応した生産能力強化体制の確立	
45	株式会社小川製作所	生産体制の再構築による付加価値の高い精密機械の構造製品市場への参入事業	
46	カドヤ株式会社	広幅フィルムラミネート設備導入による革新的製品開発及び生産性向上を目指したプロセス改善事業	
47	株式会社タイボー	多品種再生原材料における生産条件の自動収集とデータベース化事業	
48	カネマサ莫大小株式会社	世界初のハイゲージ・ジャガード編機の導入と織物ライクのニット生地開発	
49	有限会社橋爪商店	商品力の強化及び海外の販路開拓プロジェクト	
50	有限会社プロミール	新商品マグロの加工商品の開発及び販売	
51	株式会社寿精密	リチウムイオン二次電池構成部品の生産性向上に係る量産プロセスの確立	
52	合名会社丸正酢醸造元	世界遺産那智の神水を利用したブランド御酢量生産対応化	
53	株式会社森浦鉄工所	自動送りバンドソーマシン導入による生産性の向上	
54	P L A B O T E C	高性能脱臭装置付きペットケージの自社ブランド商品化実施計画	
55	原田織物株式会社	プリント試作品納期短縮及び生産進捗状況の革新的な‘見える化’計画	
56	中井産業株式会社	宿泊施設のインバウンド拡大に伴う和風空間提案のための設備投資	
57	株式会社坂本製作所	最新ワイヤー放電加工機の導入による顧客満足度の向上	
58	有限会社家具のあづま	伝統工芸士の技法を機械にて実現した桐生活雑貨商品の生産効率化と Q C D 向上	
59	株式会社神戸屋	鶏肉の合理化設備導入と H A C C P 認証 X 線検査設備で品質向上	
60	紀州技研工業株式会社	可食性インクの商業化に向けてのインク開発及び製造関連設備投資事業	
61	株式会社はまだ	古紙リサイクル製紙原料の生産性向上に資する紐取り装置の導入	
62	まるとも海産	ノンフローズンしらす増産・新商品開発に向けた生産体制構築	
63	日吉染業株式会社	スポーツアパレルをターゲットにしたインクジェット捺染の生産技術構築	
64	和歌山マリーナシティ株式会社	最新仮想ノ拡張現実体験施設の新設による施設全体の回遊・魅力向上	
65	株式会社果無	3 D レーザスキャナと U A V 導入による高度測量サービス体制の確立と新事業展開	
66	有限会社アースワーク	最新型タレットパンチプレス機導入による生産性・品質向上に伴う競争力強化事業	
67	株式会社貴望工業	精度保証を軸にした高精度加工領域への挑戦 ～将来の目標は航空機産業～	
68	株式会社サンコー	簡易ロボットの開発による生産プロセスの改善（品質、コスト、生産性）	
69	アイバイオプロダクツ株式会社	八朔など柑橘類の外皮及び内皮の酵素剥離技術による生産の拡大	
70	プラム食品株式会社	高速カメラ式検査装置導入による瓶詰飲料部門での空瓶検査工程の精度向上と品質向上を図る	
71	有限会社まるた産業	独自の販売システムを活用したクオリティーの高い特殊畳による事業拡大	
72	有限会社中田鶏肉店	頑張る零細食品工場の生産性、収益性のアップと販路拡大への取り組み	
73	株式会社大和化学工業所	高精度油圧コントロール射出成形機によるボイドレス厚肉成形品の高品質化	P62
74	有限会社オレンジ	C A D C A M システム導入による企画提案力強化と生産性向上	
75	はたなか歯科クリニック	歯科医院における技工所向け C A D / C A M 導入による患者様への還元	
76	株式会社雑賀製作所	板金用 3 次元 C A D C A M システムの導入による生産プロセス革新事業	
77	有限会社樹谷機工製作所	マシニングセンタの導入及び検査体制の構築による生産性・品質の向上	
78	株式会社サンメイト	刺繍加工の内製化による、生産効率の改善と品質の向上・安定化の実現	
79	デュプロ精工株式会社	データ検証・分析能力の向上による高性能な簡易製本機の開発	
80	有限会社ブウバアー商会	高精度空撮画像による太陽光発電システムの革新的建設・保全サービスの提供	
81	丸長食品加工株式会社	フィーレ定塩加工技術の導入および味付加工フィーレの開発	P64
82	タイミングブリー・ジャパン有限会社	生産ラインバランスの改善による平均リードタイムの 1 0 % 短縮	
83	久保印刷 久保晋也	P U R 製本機による作業内製化と新商品開発による新規販路開拓	

NO.	申請者名称	事業計画名	掲載 P
84	ワコン株式会社	折りたたみ式保冷 B O X （ C - B O X ）の開発	
85	株式会社河北食品	高齢者施設向け「1 日 3 食新鮮な食材」を届けるための製造工程変革	
86	協同組合ラテスト	スプレードライヤー導入による繊維練り込み素材の生産プロセス改良	
87	有限会社原見段ボール	最新スリッター導入による省力化・生産性向上・コストダウン実現	
88	大阪精機工作株式会社	パルスカッティング技術による高硬度大型鋼材切断と生産性向上の実現	
89	有限会社ハヤシ精機	最新の C A D / C A M システム導入による、生産性の向上と人材の育成	
90	株式会社則種海産	和歌山から世界へ！「自動帯掛機」の導入による商品バックキングの高度化	
91	株式会社アイガット	新しいジャガード裏毛の編み生地の生産と新生産システムの構築	P66
92	紀陽除虫菊株式会社	紛体自動充填包装機等の新規設備投資による増産体制の確立と売上拡大	
93	株式会社 O D E C	革新的金属 3 D プリンターを導入し、金属加工の不可能を可能にする	P68
94	有限会社建創	機能性・デザイン性に優れた高品質のオーダーメイド建具を短納期で提供する取組	
95	有限会社紀南莫大小工場	ホームウェア向け高付加価値生地の丸編み工程の高度化と生産性の向上	
96	御坊自動車整備協同組合	先進安全自動車（ A S V ）対応最新エイミング機器導入による顧客車両の安心・安全の提供事業	
97	新星自動車	最先端塗装ブースの導入による「水性塗料」への対応と競争優位性の強化	
98	株式会社紀之川製帽	先進横編機の導入によるデザイン性のある差別化製品の開発と製造能力の拡大	
99	株式会社サンアクティス	完熟温州みかんを 3 ヶ月以上鮮度そのまま保存する技術による新規事業の展開	
100	株式会社平成建機	最新式混合物選別装置を導入し廃棄物を有価物に転換させる事業	
101	株式会社山本進重郎商店	プレカット生産ラインの L A N 環境整備と I o T の活用による稼働率改善及び生産性向上	
102	扶桑鍍金株式会社	万能研削盤導入による幅狭形状への下地処理とメッキ処理の効率化	
103	木下建設株式会社	和歌山県バイオマスタウン構想に対応した設備導入計画	
104	東洋機械加工株式会社	管理データの自動処理・加工最適計画による生産性向上システム	
105	有限会社土屋総合印刷	職人技が必要な版作りをデジタル自動化、働き方改革を進める	
106	株式会社信濃路	セントラルキッチンの有効活用による労働生産性・サービス品質の向上	
107	株式会社ヴァイオス	高効率 U A S B 式メタン発酵処理システムの導入による高濃度排水処理サービスの提供	

わかやま ものづくり補助金事業 成果事例集

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業（フォローアップ事業）
平成30年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

発行日 令和2年1月
編集・発行 和歌山県中小企業団体中央会
〒640-8152 和歌山市十番丁19番地 Wajima 十番丁4階
TEL：073-431-0852
<http://www.chuokai-wakayama.or.jp/>

制 作 株式会社和歌山リビング新聞社
 〒640-8224 和歌山市小野町1-18
 TEL:073-428-0281

※乱丁・落丁本がございましたら和歌山リビング新聞社へご送付ください。送料負担でお取替え致します。
※編集内容に関するお問い合わせも対応させていただきます。